第四千百八十六號　THE KEIJO NIPPO　大正八年五月二十六日　（明治三十九年九月一日第三種郵便物認可）　年中無休刊

京城日報

發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社　發行兼編輯人 奧田直毅　印刷人 小川三之介

五月二十五日夕刊（朝刊併て八頁）

◇日貨排斥影響

日貨排斥は近來支那各地方の一齊に行ひつゝある模樣なるも東三省は督軍嚴命に因り未だ其の影響を受けず極めて平靜なりしが二十三日上海方面より言辭極めて激烈なる檄文奉天商務總會に到着せるもの、如く同總會は之を極秘とし居れるも若干の影響はある可き見込なり（奉天特電）

◇對支新借款團と我が既得優先權

今回の對支新借款團は今後起る可き政治、經濟兩借款一切に對し受優先權を有するのみならず加盟國は既得優先權全部をも該借款團に讓渡する義務あり唯だ

△純經濟借款のみ除外するものにて滿蒙借款を全然新財團の圈外に置く事に就ては關係列國と帝國との間に諒解あり、此點は將來何等疑義を存せざるものなり然らば帝國の既得優先權を讓り渡す可きものは如何と言ふに現在我國の支那に有する各種借款は大隈、寺内閣當時のもの一億二千萬圓寺内内閣當時のもの二億二千三百萬圓合計三億四千餘萬圓にして大隈内閣以前のものは總て完了し懸案は寺内内閣時代のものなるが其中吉長鐵道、四鄭鐵道、吉會鐵道、黑龍吉林省金鑛森林借款、奉天省借款、滿蒙四鐵道、濛江林業の諸借款七千三百萬圓は全然除外さる可き事前述の如く又漢冶萍公司、漢口水電公司、興亞公司、南潯鐵道公司、裕繁紡績公司等純然たる

△民間借款も亦除外さる可きを以て今回提供す可き借款並に之に伴ふ優先權は大略左の如くなる可しと（東京特電）

中央政府借款 ▲交通銀行▲郵便電信▲財政部印刷局▲中國銀行▲第二次善後借款▲參戰借款▲濟順高徐鐵道合計一億二千萬圓

地方政府借款 ▲山東運河▲京畿水災▲漢江製紙廠▲廣東省借款（廣東鹽稅擔保）▲直隷省借款▲陝西省借款▲山東省借款合計二千四百萬圓

◇東拓に何を割く

出所怪しき滿鐵事業分離說

中西滿鐵副社長の談

沿線各地巡視中なる滿鐵幹部野村、中西正副社長及び片山、松本兩理事一行を鐵嶺驛に迎ふ中西副社長は曰く初めての事凡て目に觸れたる所は概ね一局部に留まるを以て話題とするに足らず唯

△視察地方 に對する概念を得たりと云ふ他何等語る可きもの無しと極めて磊落なる態度にて更に語を繼けて曰く此概念に依りて更に各方面の調査研究を爲し初めて大方針を確立す可く滿鐵としての事業は極めて多種多端なるを以て其の確立迄には一二箇月は要するなる可し、又鐵道以外の諸事業を東拓の委任經理と爲すや否やの件に就き質せばそんな箆棒なる話の出所を疑はざるを得ずと前提し東拓本來の使命は直接に事業を爲すものに非ずして拓殖上に要する

△金融機關 なり故に滿鐵にして資金不足其他の場合融通を請はゞ之を供給して可なり殊に撫順炭坑の如き現在運炭のみにても滿鐵自身が經營しつゝあるにも拘らず其の及ばざるの狀態なるに非ずや且つ撫順炭の滿鮮に於ける燃料としての價値は今更說明を要する迄も無き事にして之を成可く安價に供給せんとするには是非共兩者が一手に經營せざる可らず又朝鮮に關する件に就き朝鮮は經濟的見地より見れば貧弱にして到底滿洲と同日の談に非ず然れども各方面より其立場の重大なるは言を俟たず故に滿鐵としては之に對し努力を吝まず

△改善向上 を謀るに吝ならざる可し朝鮮線に於ける鐵道員の要求若くは同盟等は未だ詳報無きを以て知悉する能はずと野村社長は六月下旬の總會に臨む爲め東上の際多分安奉線及び朝鮮線の一部を視察するなる可し兎に角滿洲の事情は今尙內地東京方面には諒解されざる所多々あれば社長[illegible]

社長の中一名は常に北京諒解を進むる意味を以て交互常に東京にあるを便なりとせんかと

◇一行來奉

一行は豫定の通り廿四日午後四時五分來奉下車ホテルに入り驛には滿鐵社員多數學校生徒職員及び官民多數の出迎へありて盛んなりしが社長以下は懇懃なる挨拶をなせり（奉天特電）

◇奉天第五十四旅長新任

奉天第五十四旅長は張作相氏の兼任なりしが愈々今回總統府令にて蔡平本氏陞任新補されたり（奉天特電）

◇互選會組織

男爵議員統一の目的にて組織されんとする互選會は愈々內部の交涉結束進捗し鄉、杉、谷、中川、古津、阪谷、藤村、岩倉、眞田、佐竹各男以下十數名急先鋒となり無所屬、茶話會に屬する互選男爵を包容し五十六名の新團體を組織し近く發會式を擧行する由右の結果幸俱樂部は鼎立し互選會五十七茶話會四十七無所屬二十五名となる可しと（東京特電）

◇勝田氏外遊

勝田前藏相は前秘書官杉官陳、河上卓太氏等を隨へ六月十二日發歐米漫遊の途に就く可く英、佛、米三國に留まり財政經濟を研究し更に伊國其他にも漫遊し尙は獨逸にも赴く筈にて旅行は約七箇月の豫定なりと傳へらる（東京特電）

◇木村理事渡歐

木村鮮銀理事は池邊龍一細貝五十治の諸氏を隨へ來る五月十二日發歐米漫遊の途に就く可し尙池邊氏は歐米に留まり經濟上の調査を爲す由旅行期間は約半年の豫定なり（東京特電）

◇明石臺灣總督

上京中なりし明石臺灣總督は二十四日午前九時三十八分着關山陽ホテルに休憩し同十時卅分渡門午後四時門司解纜の信濃丸にて歸臺の途に就けり（下關電報）

◇野村社長一行

野村社長一行は二十五日午後四時廿五分發鐵嶺に向ふ可く二十六日午前中は招魂社に參拜市中視察同十一時より張將軍の午餐會に臨む可し同二十四日午後七時より官民多數を金龍亭に招き新任披露宴を張りたり（奉天特電）

◇加奈陀銀行頭取

加奈陀銀行頭取オーカー氏は大連へ視察中なりしが廿五日朝來奉同十時四十分發京奉線にて北京に向ひたり（奉天特電）

◇木村理事通過

木村鮮銀理事は廿五日午後奉天通過大連に向ふ（奉天特電）

◇辭令

今回左記の通り辭令ありたり（東京特電）

任朝鮮總督府事務官（七等） 道事務官 湯村辰二郎

任朝鮮總督府道事務官（六等） 石村義太郎

任朝鮮總督府事務官（六等） 木島駒藏

◎朝紡工場

各地一長一短

朝鮮紡織株式會社工場豫定地は京城說有力なりと云ひ、平壤に決定せりとも云ひ、或は釜山鎭ならむとも傳へられつゝあるが、各地共に

▲一長一短 あり平壤は地理、電力、用水等に此の不足なきも寒氣嚴烈なるを以て冬季間の作業に能率低下を免れざるべからざる缺點あり、大田は其の豫定地が停車場を去る僅數丁の地點に在り用水も充分にして申分なきも電力の供給に就きて遺憾あるもの、如く尤も同地は彼の東拓の發起に係る沃川、錦屏面に於ける錦江を利用すべく出願中なる水力電氣會社ありて早晩電力の供給を爲すべきも之れとて目下出願中にして果して何時の頃より事實事業を開始すべきや信ずべからざるより此の會社の電力供給を期待する能はざる事情あり

▲釜山鎭は 他の點は全然申分なきも用水に困難を感ずべしとのことなりしに一行は釜山鎭に於て一箇の井戶を掘鑿し水質試驗を行ひたるに其の成績極めて良好なれば今日の處釜山鎭說最も有力なるが如し然るに釜山滯在中なりし同社青木作太郎氏は二十四日朝急遽東上を命ぜられたるに同氏は釜山より東上の途に就かずして大田に赴きたれば釜山にては豫定地が遽に大田に變更せりとの流說を生むに至りたるが右は全く青木氏の

▲大田視察 により此の噂を生じたるものにて大田に決定せるにあらざるべし、青木氏は二十四日歸城一泊二十五日朝東上の途に就きたるが其の語る處に依れば過般來々鮮視察中なりし齋藤取締役並に青木氏調査報告後重役會議を開催し工場建設地の決定を見るべしと

◎和議新方針決定

北方政府の意嚮＝局面展開か

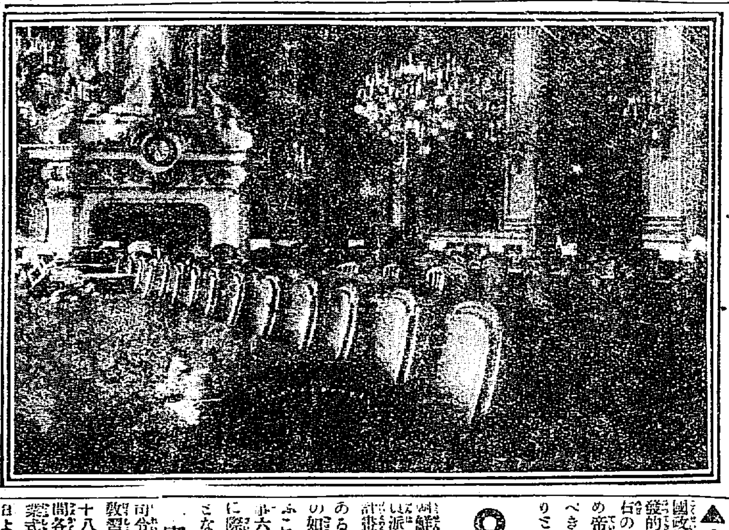
上海和平會議決裂の結果總代表朱啓鈐氏以下北方代表は全部北京へ引揚ぐることに決定し杭州に旅行中の朱啓鈐、吳鼎昌の兩氏は二十日上海に歸るに上海に於ける各種和平團體及び商業團體代表者等は上海停車場に於て一行の

▲北上を阻止 し同日上海出發の筈なりし江紹杰、李國珍、方樞の三代表も亦一時出發を見合はせたりと云ふ上海に於ける各種團體の和議再開運動に熱烈なる此の一事に依り想見するを得べしと雖も既報の如く和平會議は國會問題に關し表面上南北双方共一步も讓る能はざる狀態に陷りしものなるを以て他に有力なる調停者の出現せざる限りは是等和平團體の運動も畢竟一時北方代表の引揚を延期せしむるに過ぎざるべし但し徐大總統は一應北方代表の引揚げに許可を與へたるも引續き南北會議に盡力中にして其の順序として先づ各省督軍等に對し

▲時局救濟策 に關する意見を徵せる所、江蘇督軍李純、湖南督軍張敬堯、山東督軍張樹元、黑龍江督軍鮑貴卿、吉林督軍孟恩遠、河南督軍趙倜、江西督軍陳光遠、陝西督軍陳樹藩、浙江督軍楊善德氏等は何れも南北和議交涉の繼續を希望し、南方にして不當の要求を爲すに於ては和議を打切り討伐の外無しと爲すものは東三省巡閱使張作霖及び熱河都統姜桂題の二氏のみなるを以て徐大總統は總統府懷仁堂に國務院及び總統府聯合大會議を開催し席上錢內閣の維持及び

▲南方の要求 に係る八條件を拒絕する事とし更めて長江三角同盟をして調停の任に當らしむると共に南方總代表唐紹儀氏を經て直接廣東軍政府に電報し和議交涉續行を要求する事に決定せりと云ふ右の結果北京政府及び廣東軍政府との間には今後長江督軍團並に各地和平團體其他諸勢力を經由して非公式の和議交涉を繼續すべく萬一是等諸勢力萬全の努力も遂に其效果を示さざるに於ては或は徐大總統若くは南北當局同時に第二次安福調停の關係上、日英佛米伊五國公使團に對し各自和議決裂に立[illegible]られる

▲次第を通告 し再び五國政府が調停の任に當らん事を自發的に懇願し來るやも知れず現に右の如き局面の變化に備へんが爲め帝國政府部內に於ても其際執るべき對支方針に就き專ら攻究中なりと確聞す（東京）



講和會議々場

◎鮮銀紐育開期

來る七月乎

鮮銀にては紐育に於ける行員派遣制度を出張所たらしむべき計畫にて過般來人繰りを行ひつゝあるが略其の配置を終りたるもの如く來る七月一日より開店を行ふことゝなる模樣なり尙は木村理事六月上旬横濱出帆外遊に付開店に際しては同理事の列席を見る事ならん

憲兵教習終了

憲兵隊司令部に於て去る四月十六日より教習中なりし憲兵六十六名は去る十八日を以て授業終了し其後五日間各所見學中なりしが二十四日卒業式擧式後記念撮影を爲し二十五日より夫々赴任の由

○人見氏祖道宴

久保滿鐵京城管理局長は近く東上すべき人見東拓理事を千代本に招待して祖道の宴を張れり

◆取引所總會雜觀

加來君の座長振り＝皮肉な質問と滑稽の答辯＝新重役と株の分配＝新社長の地位

仁川米豆取引所新社長 若松兎三郎氏

仁川取引所の臨時株主總會も波瀾はあつたが、二十四日兎に角筋書通りに進行して閉ぢられた▲當日は同情すべき地位に立つたのは臨時座長の加來榮太郎君である、然し君の容辭並に議場の整理に用ゐた手腕は滿點と云へぬまでも九十何點かを附して好い▲取引所の整理に對する總督府の方針態度、重役諸君の現狀、それを明かに曰はず、又明かに曰はれず、それとなくチョイ〱語尾に含ませつゝ態度と目で、說明し得ぬ苦い立場を示した所、却々腹藝のある人である▲株主としてはその苦しい立場に同情を表するのが普通であり、大多數同情してゐた、中には何だかだと三百的の法律論をフリ廻しあげ足をとるものもあり、皮肉な質問をする者もあり、心なきにしもあらずの執拗な態度は滿場憎惡の焦點となつた▲取引所新株公募に就て色々の臆說を流布する者あり、プレミアムなしで若干株を勸取せし發起人のあるなどのうはさはその一例であるが、總會に於て一萬六千四百株は額面超過四十四圓均一にて募集を了し、そのプレミアム六十五萬六千圓を收得せりとの報告は、すべてが確實なりし事を語つてゐる▲新重役は仁川京城釜山群山鎭南浦に之れを求めた事になつてゐるが、株の各地分配と共に仁川の取引所は朝鮮の米豆取引所となつたと云へよう▲株の分配と云へば、總會でも多少苦情を聞いたが、一百株以上の新株をもたせぬ事を原則としてゐる――など、京城の某は頻りに公言してゐたけれども、新株を一人で五百以上有つたものが大分ある、甚だしきは八百五十と云ふのもある、五百五十もある▲その五百五十株は平素仁川取引所に關係をつけたくない、定期と云ふものには全く緣はれてゐると言ふ某大商事會社の仁川出張所長と云ふから少しく變にも見ゆる▲第一の大株主はある仲買人夫妻の一千株であらう、その人ばかりでなく、成金仲買人は皆大株主である、取引所前途の有望はそこから見て分ると云つてゐる者もあつた▲若松新社長の地位も仲々難局である、そこを切りぬけて行く手腕が君にあるか否かの試練期は、すぐ目の前に迫つてゐる▲三月以來不景氣の仁川も來月新市からの立會開始と共に活氣立つて來るであらう

○訂正 二十五日朝刊仁川取引所總會中取締役『李性根』とありしは『朱性根』の誤りに付正誤す

人事消息

▲大阪北區小學校々長視察團 一行廿名は廿五日朝著釜し釜山各小學校舍に就き視察を爲し廿六日午前十時發列車にて京城に向ふ可し（釜山特電）

▲オレアト氏（元大阪商船會社ホコマ出張所長） 各地漫遊の歸途廿四日午後七時着列車にて來釜廿五日當地に於る各主要工場を視察し廿六日夜釜山發連絡船にて內地に向ふ可し（釜山特電）

▲石垣孝治氏（朝郵營業課長） 廿五日朝釜山發京城に向へり（釜山特電）

八面鋒

◉御釋迦樣が開示せる八萬四千の法門より尙ほ超過する事一千語、所謂八萬五千語の條件も、落付く先が極樂か地獄か、或は一千語丈けで極樂を通り拔けて、地獄に落ちやせんば幸也。而して此地獄極樂の鍵を握れるは聯合國也、否英佛米也、若し夫れ獨逸を地獄に追ひやれば、其のこばしりの白國に來り、余濟の青鬼赤鬼共が、火の車を現いて押し寄せ來るは當然也、聯合國が獨逸の鼻柱を打ち折るは容易なるも、唯其恐るべきは、必然的反動也、即ち獨逸の分裂と過激派の勃興也、

◉曾て露國の軍閥を倒し、混亂に陷れたる獨逸は今や其の反動として、露國過激派の爲めに蹂躙せられんとす聯合國は既に獨逸の軍閥を倒せり、之より獨逸を混亂に陷れんか、第二の獨逸を誘發せずんば至幸なり、其處が聯合國委員、殊に英佛米委員の苦心の存する處なるべく、さらぬだに過激派傾向を帶びたる一部勞働者が、倫敦に於て將又紐育に於て何事をかなさんとするか、講和に對する苦心は、豈獨逸のみならんや。

◉過激派に對して憂慮するものは啻に英佛米のみならず、彼等の全世界破滅の計畫に對しては、今日の文明諸國は相一致して、速かに撲滅の策を講ぜざるべからざる、露西亞を燒き、獨逸を犯し、中歐諸國より巴爾幹に及び其の一部の英佛米に侵入したる勢力は、蓋し侮り難きものあるが如し、聯合國は果して如何なる策を以て、彼の惡魔の火焔を打ち消さんとするか

◉若し夫れ露獨に於ける過激派を擊滅せんと欲せば、聯合國は宜しく對獨條約を締結して其の討伐の勞を獨逸に命ぜざるべからず之れ獨逸が聯合國に對する責任なれば也、而して聯合國は獨逸に對して其の命令權を有すれば也、且つ又此の方法が一番容易に出來得べければ也、何となれば現在の獨逸將卒數千名は、既に露國にありて其軍隊に獨逸式訓練を施しつゝあり、之れを直ちに討伐用となすは最も策の得たるものなれば也、之れに依つて聯合國の享くべき利益の、尠少ならざる事も亦明か也。

瑞興金融組合登記公告
瑞興金融組合ノ組合長尹滋龍ハ任期滿了ノ處大正八年四月弐拾參日再選重任ス
右大正八年五月弐拾四日登記
海州地方法院瑞興支廳

特約店募集
春は來た
野に山に
來た
海に來た
晴れ〴〵と
外出に
忘れ給ふな
事務にも
學事にも
萬年筆の
ワシントン
目錄進呈
京城府南大門通一丁目
發賣元 鮮滿 宮川大學堂
電話長二九九 振替京城一〇二九

樺太へ行け
內地で金儲けを探すより新領土樺太へ行かれよ月給取でも勞働でも收入は二倍三倍以上殊に無資力者の賣藥成功は樺太に限る狐の皮一枚持ち歸つても五百圓も千圓もするのがある渡航手續も免狀も要らぬ僅の旅費で誰もすぐ行ける詳細は吾社發行の樺太案內（北極の別天地）を讀まれよ本書は前昌谷樺太長官の賛助で編輯し氣候風俗就職早道無資力實業成功案內等詳細手引す內容豐富中形二百頁大判送料共前金五十錢也即時送本す切手代用一割增至急御申込あれ今や渡航最好機
東京赤坂丹後町九 二學窓社 振替東京四三七弐番

切味保證 西洋かみそり
甲乙丙丁
弐一一
四圓圓
六三十
十十
圓錢錢錢
（小包料十二錢）
發賣元 京城大平通り 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

るつのはさ
品位最高 灘生粹の銘酒
京城本町一丁目
特約販賣 佐藤牧商店

新石油 各油卸
國旗類 一式
犬印石版 小
活版インキ 賣
炭 山成德用品
貿易雜穀商
藤富國太郎商店
京城本町三丁目
電話長二三〇

多大の歡迎を受けつゝある
福井の白羽二重
品質に於ては……絹織物界の代表品
價格に於ては……モスよりも安し
御紋付地、帶側地（しぼり染に妙）
御裏地用として經濟的實用品なり

大巾一尺	
松七	四十二錢
松八	五十一錢
竹九	五十五錢
松十	六十二錢
綾十	六十七錢

福井縣羽二重直輸入
美術小間物商
京城本町三丁目角
玉屋本店
電話一七五二番

明治二十八年創立
各時計卸商
貴金屬製作卸所
帝國火災保險會社第一代理店
京城黃金町二丁目
喜多金光堂
（電話一〇一五番）振替七八二番

目錄御申越次第呈送
趣味ある
漢陽高麗燒
朝鮮物產各種
天日草 京城本町 高麗燒製造元
海市商會
電話一二五〇番 振替京城四八番
支店 京城、大邱、東京 京橋區 同日本橋通

南滿洲＝朝鮮行＝貨物に就て
▽名古屋發＝＝鐵道連絡扱△
弊社は掲題貨物を明治四十三年以來取扱致居候處て十分の經驗を有し候現在名古屋驛發送貨の九割強は弊社の取扱に屬するは偏に各位の御同情の賜と奉感謝候尙將來倍々奮勵親切に取扱仕候間不相變御用命被下度希上候
名古屋驛前
貨物運送通關扱取業
運搬合資會社 鮮滿部
電話長本局五三三番 本局五八〇番
電信略號（ヘン）

入院隨意
京城太平町二丁目七十三（太平町大通り）
片山內科醫院
電話一九五一番
片山信夫

◇アカシヤの花 ＝西大門外にて

◎平和事業の建設に

平和協會理事ボールス氏來る
再び朝鮮に到りて第一の感想は 赤かつた山が青く彩られた事

二十四日午後七時五十分南大門驛着列車で入城した米人ギールバルト、ボールス氏は目下日本平和協會の理事をして居る人で脊の高い

◇無髯の好紳士 である途中驛迄出迎へた記者が刺を通ずるご氏は快く手を差し伸べて握手を換はし鰹類に笑を湛ゐ『當方に御出でになつてから何年位になりますか？』等ご分り易い言語で質問しながら語る『私は御承知の通り米國フレンド協會の派遣員こして日本にはもう十八年も參つて居りますので日本の國民性ごか日本の人の趣味風俗習慣等に就ては殆んご

◇充分な理解 をもつてゐる積りです……』ご今迄熱心に何やら書いてゐたノートを側の方へ押し遣りながら自信あるらしく一人で首肯き『私ごもの事業は既に皆樣の信用に依て明かな所だらうご思つてゐます…此度私が朝鮮に參りましたのも聊かなりごも平和公共事業に讃嘆したいご思ふからで他に何等の意味も持たないのです京城に著きましたら總督府其他

◇主なる方々 には無論御挨拶申上げ度いご思つて居ますが私の旅行の目的は調査ごか視察ご言ふよりも寧ろ建設ご言ふ方に主眼を置きたいご思つてゐるのです釜山に著いた時矢張り新聞社の方が御見えになつて私共から質問した事をアベコベに私の旅行の目的の爲に報道されてゐましたが私の目的は只今申上げた通り他に何等の意味をも有してゐない事を御承知下さい』ご極めて

◇謙讓な態度 で話してゐた記者が『朝鮮に對する御感想は？』ご尋ねるご『私は丁度今から二年前一度朝鮮に參り京城や平壤を見物したことがありますが其當時ご比較するご鐵道沿線の山が著しく青緑の色を増したことです勿論植樹の成長した長さは僅かも知れませんが赤土の山が立派に青い山になつてゐる箇所を見受けます是れが私の

◇感想の唯一 つのものです』ご答へた汽車が南大門驛に著いて寫眞を請ふご『私は一宣教師ご言ふに過ぎませんから世間にあまり紹介される程のものではありません……』ご頻りに辭退してゐた尚ほボールス氏は二週間乃至三週間滯城の豫定ださうである

◇皇后宮 日比谷へ 廿六七の兩日

皇后陛下には二十六日午前十時御出門日比谷公園に於て開會の日本赤十字社第二十七回通常總會へ、又二十七日午前十時御出門同所に於て開會の愛國婦人會第十八回通常總會へ行啓遊ばさるべしご承はる（東京）

◎明治神宮の 御用材は

大部郵送濟み

明治神宮御造營の御用材は大正五年から木曾の小川、王瀧外數箇所の深山で

◇伐採に着手 して大部分は末口一尺以上の良材で長さは十五尺殆長尺物こしては夫以上のもの多く全部檜の節なしを選擇したもので工事の竣工に近づくに伴ない御用材も小部分を殘すのみで大體輸送も終了した此輸送が打切りさなるご共に更に伊勢大廟の御用材の伐採に着手する計畫である既に

◇木曾の全山 に亘つて全體の調査は結了して居るが大廟は古來の恒例に則り二十一年目御式祭毎に改築する事こなり居るもので次の御改築期は大正十八年に當るが其準備に入るもので御用材は明治神宮以上の巨木を要し勿論節無し無傷の檜末口徑三尺物で根廻りは九尺以上のものであるご云ふことである（東京）

◎森氏押送さる

背任の嫌疑か

長崎十八銀行の支配人森常吉氏は過般縣立長崎病院入院中のところ廿三日退院ご同時に長崎警察署に拘引され目下朝鮮に向け押送中なるが事件の内容判明せざるも同氏は六年前仁川同行支店長こして勤務し當時仁川米穀取引所監査役たりし事あり其當時に於ける商法上の背任行爲ありし嫌疑に因るものの如しご傳へらる（長崎電報）

◎第十二師團

先發歸還隊 六日門司上陸

小倉第十二師團留守司令部發表＝第十二師團歸還者は先發隊及び野戰病院隊將校廿八名下士卒二百三十九名馬匹五十七頭は六月一日浦鹽乘船同月六日門司上陸の事に決定せり（小倉電報）

◎新設される兩公園

＝來年から市民の遊び場が殖る
愈々六月初から工事開始
奬忠壇には競技場を訓練院には庭球コート

愈々認可になつた府の豫算に據つて本年度内に實施される奬忠壇ご訓練院の

▲公園工事は 奬忠壇ご訓練院の土地が來る六月一日總督府から京城府に引渡されるので夫から起工されるさうである、現在、該所にある民有建物の借地權も五月末日限り總督府から解約を宣言されたので新らしく京城府から借用する事さなるのであるが京城府こしては公園の施設に支障ない限り賃與をする筈である又訓練院にある鮮人農家なぞに對しては其收穫期迄、農作物を置いて出來る丈

▲市民の便宜 を計る方針らしい公園の施設費こして計上されてあるのは一萬七千九百餘圓で大部分は奬忠壇の工事費である右に就き服部事務官は云ふ『何しろ財源がないので公園施設も充分に實行が出來ない、本年度は奬忠壇に力を入れる筈である訓練院は清溪川浚渫の結果でない土盛が出來ないので後廻しにした奬忠壇は設備費一萬百圓でまづ

▲現在の廣場 附近に五千八百圓を以て競技場を設け、川の附替をやる道路を修築しあの川に架してある橋を修築する又一方堤在の芝生を整理して亭及び腰掛を各所に設け休憩に便利にする松林を間伐した上に櫻、紅葉、連翹を植ゑ別に苗圃を設備し永久的に樹木の補植をして公園の美觀を達成する筈で本年度内には竣成するから市民にも

▲善い運動場 を與へられる、茲の工事は之だけでも充分使用は出來るが猶數箇年の計畫で充分立派に仕上ぐる豫定である。訓練院 は前述の次第で未だ廣場に手は附けられないので東部の丘ににテニスコートを四百圓で築造し其他道路橋梁修築、芝生地整理、亭及び腰掛の設備、植樹、苗圃、共同便所の設備等は小規模ながら

▲一通り施設 する筈で總額五千五百三十圓を充てる考へである茲は未だ全く不充分で僅に一部を造る丈である』兎も角大正九年には市民の爲めに不完全ごは云へ二箇の運動場が設けらるゝのは幸福である

◎大仕掛な潛水艇

＝近く廻航するウー第百廿五號
白晝水雷敷設が出來る裝置

近く日本に廻航する獨逸潛水艇廻航委員の一將校が某氏に寄せたる

▽私信中 にウー第百廿五號には水雷發射管四門五吋砲一門三吋砲二門、機械水雷敷設裝置ありて我三等驅逐艦以上の勢力あり從來機械水雷の敷設は驅逐艦が夜間目的の位置に行きて敷設しだるものなりしを此の潛水艇は白晝

▽潛航し て危險區域に至り敷設するの大膽なる行爲を爲し得る出來た許りの艦なりウー第五十五號は多くの戰歷を有し居り我艦隊に引き取りたる時は艦内滅茶々々なりしを修理して自力にて廻航し得るに至れるは我が海軍の誇りなりと云々こありたり（矣）

◎船頭の死

▽杉丸太 四十餘本を筏に組み[illegible]共に漂着せしより高輪署よりは森[illegible]て曰く秀五郎は常に實直なるを賞讃に價する行爲なり、家には妻[illegible]の外子供二人あり一家の支柱者た[illegible]

[illegible]十一名 今井民夫、原沼介、岩田[illegible]、木谷久一、田中重次郎、庄村伊之助、太宰藤作、小宮次郎、横田三蔵、岳興先[illegible]、廣吉助、高根準、吉賀鶴助、小川次男[illegible]

二十四日午後入港[illegible]上陸客[illegible]

天氣 京城地方 晴後曇り

◇二十四日夜入城せるボールス氏

◎春場所の 番附豫想

＝友綱部屋は東方へ ＝井筒部屋は西方へ

夏場所の成績に依つて作製する春場所新番附は十日目の翌日上野精養軒に於て役員總會議の上決定するのであるが

◇協會改革 の聲の高まご東西の權衡が取れぬ爲め相撲が面白く無いこいふ評判の高いさから協會役員が新番附編成に際しては非常なる英斷を實行することになつた、而してその一は友綱一門力士を東方に廻して非常部屋力士を

◇西方に廻 すこごであつて、即ち矢筈山、紅葉川、清瀨川州山、黒瀨川は東方に、駒泉、源氏山、宮城山、逆鉾は西方に廻る、そして東方は横綱栃木山、張出横綱大錦、關脇對馬洋、關脇大の花、小結大門岩、筆頭大の里こなり

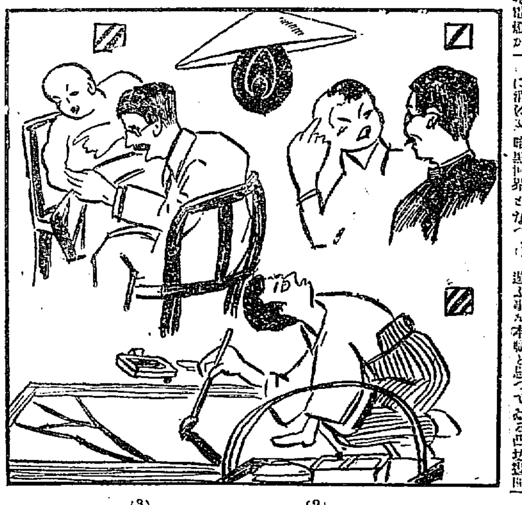
◇新入幕は 一人も無く西方は横綱鳳、大關千葉ケ崎、張出大關一潮（引退するこせば源氏山）關脇源氏山、小結三杉磯（或は宮城山白岩のうち）筆頭宮城山（或は三杉磯、白岩のうち）こなり新入幕は阿久津川、東雲、射水川陥落は東西を通じて敷島、鬼鹿毛錦洋の三人といふことになる

◇墜落慘死せる益滿中尉

◎飛機墜落

益滿中尉慘死

廿四日午前九時四十五分各務原高等飛行場中央に於て益滿中尉は旋回飛行演習中約三十米突の高所より墜落し機體は粉碎され同中尉は無慘なる慘死を遂げたるが之れ各務原に於ける最初の犧牲者なり（各務原電報）



先日猛烈な雨で城下襲つた大雷雨のため電燈が一時に消えて暗黒世界となつた時の話

(1) 遊ぶ事を本職と思つてゐる西坊城伯さん〳〵遊んで食べて床屋に行つて頭を半分許り刈つた時、俄の停電、外はすさまじい雷で時々光がピカ〳〵やるハでお客も床屋もピク〳〵もの西坊も流石に氣がついて半分は翌朝に刈る約束で歸つたがあくる日になると例の病癖がたゝつて學校には遲刻先生の前で頭をさげて半知の頭で謝なしたので友達は手を拍つて笑ふ、憤慨した西坊子勢で電燈の修めだご怒鳴つた

(2) 天然痘が再々發生して來たので茶目助け種痘を施してもらうためにお醫者さんの宅へ行つた先生早速針を採つて茶目助の二の腕へ針をさした一瞬間電燈がパツと消ゑたので針が横にそれた翌朝其所が腫れ上つてゐたので先生も茶目助もヤヤ〳〵

(3) 『本職が先生然……の如く夜遊勉強してござる今や丹田に力を込めて充分墨を含ませた筆を紙に下した刹那電燈が消ゑたので折角見當がつかず暗闇球を睨んで目ばかりパチクリ

◎騷擾の鎭靜に連れ

鮮人用教科書が俄かに賣れ出し
書籍商は狼狽して内地へ打電

騷擾で閉校を餘儀無くせられて居た市内各公私鮮人學校は騷擾鎭靜こ共に

授業を開始 したので今迄賣行きが鈍かつた教科書が俄に賣れ出し各級を通じて讀本、修身漢文等内地出來のものは忽ち賣り切れこなつて終つた大阪屋、日韓書房兩教科書取扱店では狼狽して内地の取次店に打電したりして教科書の取寄せ中であるが此外鮮人の書籍購入が漸く旺盛になつて來た右に就き兩店は云ふ『戰後は各教科書が改正せらるゝこ云ふ噂が何うやら來年度行されする模樣なので内地の各教科書製造元では何れも製本を

餘程手控へ たので當地への送本も非常に尠かつた其上從來古本で濟ませて居た生徒迄が好景氣で新本を購入する樣になつたので教科書は忽ち不足を呈したので製造元からは教科書を返せさ云ふ電報に數回接した位である教科書を返せこ云つて來た事は全く前例の無い事で是れを見ても判る手控への結果内地は如何に教科書が不足して居るか、窺はれるこ共に教育界の大問題であるこ云はねばなるまい

◇尚は小學校 の教師用教科書や生徒用の唱歌等は授業開始後今月に至るも未だ着荷しない始末で今年の教科書は全然お話にならない

◎新聞原紙の 値上要求

各製紙會社聯合して
各社に拒絶を通告

廿二日突然各製紙會社は各重役出席の上東京府各新聞社に對し新聞用紙一連に就き八十六錢の値上を申し込めり之に對し各新聞社は廿三日夜會合の上右値上拒絶の決議を爲し一同連名調印し二十四日午後四時回答の筈なり製紙會社の返事如何に依りては本會員は大覺悟こ一致の步調は必要こする事ゝ承知あり度し、後報を得次第更に通告す

◇右の電報 は東京の新聞協會より廿四日夜本社に宛て到著せるものなるが原文に依れば製紙會社は各新聞社に對し新聞用紙一連に就き八十六錢の値上げを申込み之に對して各新聞社は値上げ拒絶の決議を爲し本社にしても亦右の旨照會し來れり、若し會社側の要求に應ずるこせば

◇各新聞社 は止むなく新聞代の値上を斷行せざるべからず斯くては多衆を相手こせる新聞紙の使命に缺ぐるなきを保し難ければ本社に於ても取敢ず値上反對の旨回答を發し置きたり。右一連に八十六錢の値上こすれば從來六十六圓の卷取紙一本に就き十一圓五十錢の値上こなり從つて新聞代一箇月に就き

◇二割以上 値上を餘儀なくせられ即ち本紙從來の代價七十五錢を九十五錢以上に引上げざるべからず、殊に朝鮮に於ける、各社別の如きは運賃關係等の關係上内地各新聞社に比して幾分高率の値上げは、當然ご諦めざるべからず、是に到り各社側に於て止むを得ざる事情の存せざる限り單に

◇利益擁護 の故を以て右値上を申込みたりごせば前記の理由を以て新聞社側は強硬に反對の步調を取るに至るべし。

◎赤壁虱を發見

＝龍頭山にて

釜山唯一の公園龍頭山の松の樹が近頃めつきり衰へ既に四五本の大木は哀れ枯死の狀態に陷つて居る府廳では風致を損ふこ云ふので色々調査した結果今迄朝鮮に見受けなかつた赤壁虱の被害だこ知れたので其驅除方法に種々苦心した末目下盛んに除蟲菊加用石鹼水を噴霧器で撒布してゐるが此害蟲は朝鮮で最近發見されたもので木浦邊では盛んに綿に被害を及ぼして居るこのこご（釜山）

◎頻々たる火災

樓下洞ご松峴洞
全燒三戸半燒二戸

廿四日午後十一時五分樓下洞百九十六番地備基元方カンテラより失火し忽ち屋根に燃上りたるが消防隊の努力も水利の便惡き爲め効を奏せず見る〳〵間に延燒し全燒一棟三戸、半燒二棟二戸を出し零時十分漸く鎭火したり原因は失火の由▲右火災に次で又も同日午後二時二分松峴洞十六番地酒類製造業康淑鄕方の筵より發火し藁屋根に燃移り既に大事に及ばんごせしを消防隊の盡力にて即時消止めたり

浄瑠璃

▲昨年京城へ來た南次太夫は興島太夫こ改名披露を大分上達したこ語り口も大分上達したたつぷりの事、節廻がたつぷりとしたものだ一人前には成るだらう▲太夫は三味線の下手さ極た譯では無いが上手な太夫は少い、昔取つた杵柄で流石に鮮やかなものだ▲何うも總體に男太夫は無器用で困るテ、女太夫は大抵三味線も可なりに彈く、女師匠が比較的受けのよいのも頭一は此の邊にある▲語りでも三味線でも其の人の氣質を現はすもので同じ豊竹の三味線を彈いても龍絲さ奈良梅は夫々違つた氣持が現はれる、龍絲の絲は男性的色彩に富んだ方で勝氣な所が撥の切れ目目に背かれる奈良梅は何んでも平凡に彈く、一こ口に云へば眞の女性的で温順である▲皆喜太夫は落着いた品の好い人だけに三味線も其の通り、大功記詰め場が彈いても決して慌てない、カマニ〳〵ご行く

運動界

▼殖銀コート開き

庭球大會舉行

朝鮮殖産銀行は明治町同行新設コートで二十五日午前九時からコート開き庭球大會を擧行した朝來の好晴は絶好な運動日和であつたから紅白のだんだら幕から見物の顏が一ぱい並んだ午前中は行員の紅白勝負があつた近藤櫻井組、廣瀨來島組等は面白いゲームを見せた

紅　白
○吉田佐竹—伊藤林
山中間島—木村山口○
○富山懸梁—網　西守
○江口小路—石部西脇
○安井柔—米山榊原
○祖　鄕—金　趙
○磯谷平澤—井上池田
岡部上原—白水林○
中村櫻庭—池上吉賀○
近藤櫻井—廣瀨來島○

正午後來賓の試合あり終つて模擬店を開かれ甚だ愉快なコート開きであつた

▼倭倶對商銀戰

勝敗尙決せず

倭城倶樂部對朝鮮商業銀行この庭球試合は二十五日午前十時三十分より明治町商銀コートで擧行されたる日和が善かつたので試合も緊張した氣分で續けられた

倭城軍　商銀軍
岡本岡本二—三高平松村○
森山平山二—三高平松村◎
○中島山下三—一松田李
◎中島山下三—一神崎石原
○宍戸東三—二高瀨德重
宍戸東一—三永田永山
○大島坪井—〇永田永山
◎大島坪井三—一〇池田山本
關　木脇一—三岡部森○
戸崎小島〇—三岡部森◎

優退戰に入り雨軍必死の勢ひで戰ひ居れるが其勝敗や如何（以下次號掲出）

演藝案内

本町一丁目有樂館改　喜樂館　電話九七番
廿三日より改名披露特別三大映畫提供
日活特作品尾上松之助村扇太郎合同劇
◎滑稽機械人形三日月の自動車
◎舊劇『四谷怪談』全五卷
◎新劇主人公に扮するは松之助にて彼の活躍せるかを見られよ共撮影に至りては我日活會社が如何に努力せるかを見られよ
米國ヴァイタグラフ社特作『肉彈』原名の勇士全五卷
◎日活向島製作新派悲劇『潮』紅綠先生原作撮影全六卷
◎山崎宮一、東猛夫、衣笠貞之助大合同
毎月一日十五日土曜日曜祭日晝夜二回興行
階上全部一〇錢、階下二十錢

浪花節　浪花館　電話二六〇　午後六時開演
浪花節黄潮虎丸一行　五月廿五日より
▲義士銘々傳
▲七化鶴　▲中山安兵衞
▲更科利生館
▲左甚五郎
▲寛永三勇士
▲菊間の士銘々傳
義潮　畜潮　歌貴　浪花家辰丸　浪花家辰美　實潮虎丸
大切本興行に限り大勉強日替り

黄金館　電話三三六六　晝夜二回
天然色ミ動寫眞會社京城出張所
ヌ後三六三ミ
廿三日より新規大特別大映畫提供
アメリカ、セリグ大映畫
◎喜劇『熱を食すな』大滑稽命の洗濯
◎新派悲劇『四十七の秘密』五卷
◎新派劇『一の谷嫩軍記』新作三卷
大活會社設立以來の傑作品他に並びなき新派大悲劇が愈々獨技を振ひて菊地幽芳先生原作
◎劇『乳姉妹』七卷
他館に上映せし物さ御見較べを願ふ
特に上場
◎入場料　階上全部四十錢、階下廿錢

櫻井町　大正館　電話八七三
此る五月廿四日よりの大寫眞提供
◎滑稽活劇『消費氣狂長尺』
◎漫畫劇『朝鮮ハレタル論教』
米國レックスピーチ會社特作品
米國レックスピーチの映畫『我等に於ける最初の公演』
人情大活劇『愛の柵』全八卷
尾上松之助中村扇太郎合同劇
◎歷史劇『天草四郎』全五卷
歷史に名高き天草騷動にして天草四郎は島民に推されて總大將となり天下の大軍を向ふに廻し悲壯な戰をなし後世其勇名を謳したる血涙ある活史劇

本町二丁目　壽館　電話一〇五〇
此る五月廿三日初日開演
現代的浪花節文藝部幹事最高理想松平呑洲一行來る
現代的浪花節の大家にて耳を傾けしむる妙なる咽喉で演じ聽衆をして淚の袖を絞らしめ常に滿場の人氣を一身に集めたる呑洲改め 『三日月節物』一
▲雲の俠客　空中軒路吉
▲武士道　桃中軒みさを
▲義士銘々傳　松平天鈴太郎
▲班船の平治　東京龍丸
▲爽人の犯罪　吉田彩力
▲羽賀井平馬　吉田春洲
▲乃木將軍　頭山滿　松下呑洲

京城本町　壽座　電話五七八
時代家男女優合同一座
五月廿五日より『第八回替』午後六時開幕
▲喜劇『寢玉』三場
▲新作劇『彌次喜多道中』三場
▲新派連鎖『黒髮』三場
▲社會劇『百行の基』二幕
▲泰西活劇『古塔の秘密』四卷

大連燒酎
各地に特約店を募る

荊妻愛子儀永々病氣之處養生不相叶本日午前七時死去致候間此段謹告仕候
追而葬送の儀は二十六日午後四時自宅出棺中行列にて東本願寺別院に於て執行仕候
尚供花放鳥等御寄贈の儀は平に御辭退申上候
大正八年五月二十五日
親戚　森川定次郎
親戚總代　片山市治郎
友人總代　宇津木嘉太郎
　　清谷惠眼
　　田中嘉助

最上醬油
朝鮮仁川　尾高
高杉醬油釀造場

強胃消化錠
八木田博士嘉成方　島田博士御鑑定
アナタの胃病にはマーゲン
本劑の特色
二博士推薦の本劑マーゲンは純良なる病原と異り此の素効は根本的に胃の機能を盛んにし消化を佳くし食慾を増し胃腸を治し遂に完全にす
大阪市東區上本町五丁目　田畑保榮堂

おとぎばなし
龜と鶺鴒
八島柳堂

或日、子龜が親龜に、
『阿父様！僕あの鶺鴒と云ふ鳥の肝が食つて見度くつて仕方がないの、どうかして食させて頂戴な、ねー阿父様』
と、おねだりをしました。親龜は可愛い、子龜のおねだりですから
『あゝいゝとも』
と、直ぐ請合つて終ひました。
『あゝ嬉しい、それでは阿父様乾度ね、あの鶺鴒の肝ですよ』
と、云ひながら、子龜は水の中へ潜り込んで終ひました。
さあ、困つたのは親龜で、
『あの、すばしこい鶺鴒が、どうして俺の樣なのろいものに捉れるものかい、困つた事だなあ、けれども子供に乾度食させてやると約束したのだから、何とかして鶺鴒を捕へなければならない、さて、どうしたものだらう』
と、陽光に甲羅を干しながら考へて居ました。すると、其處へ鶺鴒がひよつくり飛んで來て、
『よう、龜さん、何をそんなに鬱いで居るの』
と、長い尾をぴよこつかせながら云ひました。
『はい、實は、その觀音樣が御病氣なので』
と、口から出任せの事を申しました。そして親龜は、突然鶺鴒の足に喰付きました。
『あつ、痛い、痛い、これ龜さんお前さんは、何んと云ふ亂暴な事をなさるのぢや、あつ痛い、痛い、足が折れて終ふよ、放して呉れ』
と、泣きながら云ひますと、龜は
『鶺鴒さん、濟まないけれども、お前さんの肝が貰ひ度いのだ』
と、鶺鴒の足を啣へた儘、水際へ這ひ寄りました。
『龜さん、まあ待ちなさい、お氣の毒だが私は、今肝を持ち合せて居ない、それでも、お前さんは私を水の中へ入れる心算かい』
『何に、肝を持ち合せて居ないつて』
『うん、さうだ』
『それは、何故だい』
『何故つて、考へて見給へ、私は常時彼方此方を飛び廻つて居るので高い空から若しも肝を落して堀して終ふと困るから、斯うして、空を飛び歩く時はちやんと木の枝に引つかけて置くのだ、それで今此處には持ち合せて居ない』
『それは、つまらない、それでは何處の木の枝に引つ掛けてあるかそれを云へ、云はなければ放さないぞ』
『よろしい、それでは、引つ掛けてある處を教へて上げよう、それ向ふに小山があるだらう』
『ある、ある』
『その小山に一本の柿の木があるだらう』
『あゝ、有る、有る』
『その柿の木の枝に赤い色をした丸いものが澤山有るだらう』
『ある、有る』
『それが、肝だよ』
『はゝあん、あれが肝かい、して澤山有る樣だが何れがお前さんの肝だい』
『あゝ、その中で一等大きいのが私の肝だ、是丈け云へば私の肝を差上げたも同然だ、さあ足を放して呉れ』
『よろしい』
龜は鶺鴒の足を放しましたので鶺鴒は空へ舞ひ上りながら
『こんまな龜やい……』
それを聞いた龜は、地團駄踏んで口惜しがりましたとさ。

◆南洋の眞珠貝採り◆
南洋に於ける危險なる眞珠貝採りは、我邦人勞働者の獨占事業であつて、隨つて其收入も頗る多い、大低一ケ年に手取以上二千圓位は剩し得る勘定なるも、我邦の勞働者は每週取つた丈悉く酒色に遣ひ捨て、どうしても金を殘さぬ、金儲が目的でなくば、何も好んで熱帶地方へ而も命がけの仕事に行く必要は無い筈で、各自に其事は心得てゐながらツイ／＼遣つて仕舞ふ氣になる、つまり我邦の勞働者は命を惜まず、危險の仕事をなすといふだけで貯蓄心が缺乏してゐる譯である（海外）

第一版　滿洲遠邇

南滿の稻作（三四）
一貫生

何うも年を取ると長談議に陥り易くつて困る、車中は支那紳士と大分當たり當られたりして面白かつた、瀋城で失敬して下車した、同所は南滿に於ける柞蠶の生産地で、安東縣に並んで有名な土地である共に、世上に能く傳へらるゝ滿洲水田の模樣を見る爲めである下車直ちに網友井上君の經營する農場を巡視し柞蠶關に就ても大分說明を拜聽した、而して水田から穫れた内地稻も見た最も目に付いたのは井上君の試作したと云ふ土佐産の早稻である、却々立派に出來て居る、幹の成長は三尺もあろう根張りも頗る好い、種は一々根張りより四五穗出て居るが、一穗に籾約百粒以上はある、同君は語る意外に好成績を示して居る幹の成長、根張り等も内地よりは好成績を呈する事は受合である、早稻が晩稻になる事は止む得ぬが之れならば敢て常作として不可はなからう、今年は朝鮮の早稻を試作する積りで江景へ注文してあると、而して此の耕作は支那人では出來ぬ、出來ぬと云ふよりは支那人は耕作法を知らぬ、其處に至ると朝鮮人は能く知つて居る、滿洲で水田を經營する者は必ず朝鮮人を使用せねば駄目だ、而し支那人とても知らぬと云ふ丈で敎ふればやる現に井上君は親しく支那人に敎へて耕作したと云ふ、成る程と感服しつゝ導かれて支那農夫の生活を見る、頗る不潔で簡短なものだ、外見は朝鮮人の住居より整頓して居る、又立派だが内部は朝鮮の方が最う少し萬事能く出來て居る、井上君は更に拙者を案内して墓地へ行つた、其處には十字架の墓標や木標があつた、一基の十字架に二人の女の名を書いてあるのがある、之れは此の地の小學校長の二令孃の墓だ、校長は此の瀋城を埋骨の地と決めて專心内地兒童の敎育に努めて居る洵に感心な人だと語つた、其の並にある二個の墓標は井上君の令弟と親戚の人であつた、吾々は斯る不自由な處へ來て困難と戰ひつゝ斯る犧牲を拂つて居るから、故人に對しても大いに奮鬪せなければならぬと眼を叩いて居た、意氣頗る壯なる處が閃いて居た、其れから井上君の農場に歸つて晝飯の御馳走に預かつた、高粱に陸稻を混じた食事を取つた敢て空腹ではなかつたが、外國米を食するよりも好い、豆糟飯などの比でない、井上君は食糧問題研究者も、恐らく斯う云ふものには考へが至らぬのだらう、之れを常食にして居れば經濟的で米食と何の相違もなく、內地米の調節など其う謎がないでもよい、陸稻ら作れば澤山能く出來るが、敢て陸稻と云はず若干内地米を混ぜればまだ上等なのが出來るとバクついて居た、拙者も大いにバクついた

大連より
◎拂底窮迫の極に達せる大連の住宅問題は官民共に其の緩和調節の急を認め常に其の方法手段の講ぜられ一面に於て比較的多くの新築家屋の落成するを見るも住宅の拂底は依然として單に緩和調節せられざるのみならず年月と共に益々市中住宅の缺乏を訴ふるに至れり
◎住宅の拂底は飽く事を知らざる家主の射利心を挑發し甚だしきに至つては昨年二三月の交と今年四月末との家賃は約一箇年の間に三四回の家賃の値上げに遭ひ當初の家賃の三倍を支拂ふが如き珍らしからず斯くの如き家主の暴虐に會ふも去つて住むべき家なきを以て止むを得ざるなく中流以下の月給生活を爲す者は其の收入の過半を割きて家賃に宛てざる可らず是れ重大なる社會問題なり
◎而も一面内地よりの新移住者は每航滿員を以て上陸し日を追うて益々增加の趨向を示せり新に渡來したる者は愈々住宅を得るに難く二三家族が狹小なる住宅に雜居し風儀を紊し嫌惡すべき行爲を釀成するそは家屋の拂底が齎す罪惡尠少にあらず
◎旅館下宿屋等は常に滿員の有樣なるも猶且つ住宅を得難く其の收入と宿料と收支相償はざるが爲め折角渡來し乍ら内地に引還す者或ひは奧地に移る者甚だ多し單に大連の爲めにのみ言はんや亦重大なる社會問題に非ずや
◎而して市中家主なる者の三分の一弱は所謂大家なる富有者にして土地家屋等の不動産の收入を算する者に非ずして一時の金融を得て土地家屋の暴騰を狙ふブローカー又は惡性商賈の投機者流なるを以て其の借家人に對する溫情の如き皆無なり
◎彼等は一面家屋買收資金の利子を支拂ふと共に一面に僅少なる持家の收得に由つて生活せざる可からず彼等亦家賃を引上げざらんとするも能はざるなり而して每日高價なる買手を求めて轉賣に奔走す斯くの如くして吾等の知れる範圍にても半箇年に四人も家主の代りたるあり一箇年同一家主を有する借家人は珍らしき幸ひにして家主の代る事は家賃の値上げを意味するものにして其の値上げに抗すれば直ちに立退きを要求せられ雨露に曝さるゝか或は大連を去らざる可からざるに至る
◎壁破れ屋根漏り、壁つると雖も家主は永く所有するの意志毫末無きを以て家と借家人とに對して些かの同情も顧慮もあらざるなり之等の家主の背後には更に住宅に窮迫せる住宅浪人が現住者を迫害逐放して後釜に直らんとし家賃を騰上げ苦しまぎれに有利の條件を以て代つて借らんとす家賃の上騰底止する處なき故あるなり
◎之が救濟の方法は關東廳滿鐵役所、東拓等協力して根本的解市に當らざる可からず隨々たる土地挪下の如きは却つて弊害を助長すべし現に尺寸の餘地なき市中に廣大なる板圍ひの空地を所有する富有者の甚だ尠からざるを見るべし
◎先づ大連民政署は市内の貸家を査定し其の場所及び建物に由りて等差を定め各級に分ちて家賃の一定を斷行するか或は貸家事務を全然市をして處理せしむるか或は直營又は東拓をして各階級の貸家を建築經營するかに在り滿鐵社員及び各官公衙官公吏傭人等は悉く舍宅を新築して居住せしむるも一策なり
◎何れにせよ現在の儘に放任せば益々土地家屋の拂底を告げ好ましからざる結果を生ずるや必せり速かに之れが根本的解決を圖るべし元來我國の官憲は斯くの如き社會問題を輕視し直接之等の問題に立入り解決するを自ら侮るものの如き風あり之が本を忘れて瑣末を追ふ舊式偽政者の事なり（二十一日）

◎土地增價稅
大連其他各地

關東都督府は大連旅順兩市及び沙河口、潭家屯、台山屯等に於ける民有地に對し二十二日土地增加稅規則を發令し六月一日より施行する事となりたるが其の要點は土地所有權の有償移轉ありたる時若くば十五年間土地所有權の有償移轉なき場合にして土地の自然增價額に對し賦課する事となれるが其の方法は土地買收の原價格及び土地の永續的改良の爲めに投じたる費用一箇年以上自己又は他人をして使用せしめざりし土地は原價額に一箇年百分の五の利息等を控除計算する事とせり最も其の控除額は百分の四を超ゆる事を得ざる事とし土地增價に對する稅率は土地有償移轉の場合に於ては自然增價格が原價の百分の十五原價の百分の五十以上百分の百未滿なる時は百分の二十百分の百以上百分の百五十未滿の時は百分の二十五を百分の百五十以上なる時は百分の三十を前所有者即ち土地を賣却する者に賦課し又十五年間土地所有權の移轉なくして自然增價せる現所有者に對しては其の土地原價百分の五十未滿は百分の十、百分の百未滿は百分の十五、百分の百五十未滿は百分の二十、百分の百五十以上百分の二十五を賦課する事となり納稅人は所有權移轉の場合は民政署長の指定する期日に納付し然らざる場合の納付者は翌年一月末日迄に納付すべく土地の賣却を爲す者にて增加稅の完納する迄は該土地の引渡しを得ざる規定なり之れが爲め關東廳にては民政署長を委員長とする地價調査委員會を設け大連市には八名旅順市には六名の關東廳高等官及び市民の有力者各半數より成る委員を選び近く關東長官より夫れ／＼任命せらるゝ筈なり（大連）

◎切山辯護士開業　法學士切山篤太郎氏は多年公州地方法院判事京城地方法院判事及び京城覆審法院判事として令聞ありしが今回辭任して辯護士を開業し京城黄金町一丁目百五十九番地（電話長二八六九番）に事務所を設け民刑訴訟一般の法律事務を懇切に取扱ふ由

秩父銘仙　浴衣地　帶地類
階上增築落成記念
薄物類　よせ切れ見切れ品　多數!!!
夏物陳列即賣會
五月二十八日・二十九日・三十日（三日間）
太平通り
京城日報社代理部

りん病に　淋毒に
困る方切手三錢送れ多年の經驗にて自宅で秘密に治す妙藥を人助けに無代お敎へ致します
名古屋南かじや町　武藤龜吉

◎**月やく**
月やくがとまり不順のため時々嘔氣を催しのぼせ頭痛眩暈して何となく心配で一日も安心なし全く色々と他の藥を用ひ効のない方は迷はず私方へお出なさい一番たしかに害なく流經す
月經の專門藥
があります　お出の出來ぬ方は返信料添申込れ知せす用ひになつた方は皆機能現れて大喜びです
東京市四谷信濃町　東京停留場前
大阪北區曾根崎上一丁目四番地
月經專門藥　經球發行所　森田屋

かつけに
尾崎**糠精**
藥學ドクトル　村井弦齋先生　命名實驗證明
東京市中澁谷町
販賣元　尾崎兄弟商會
◎全國各藥店にあり◎

瀬戸外科皮膚科醫院
京城旭町二丁目（舊三丁目）電話二四九八
（診察夜九時迄）
醫學士　瀬戸潔

甲鐵のポートワイン
安心シテ召上レ!!!
今ヤ雨後ノ筍ノ如ク實質ノ備ハラザル葡萄酒簇出シ愛飲家ハ其撰擇ニ困惑スル此際純良美味ニシテ滋養ニ富ム眞ノ葡萄酒ハ此ノ甲鐵アルノミ
醸造元　甲洲サドヤ
朝鮮總代理店
福榮商會

ふつた　あとの良い氣持
金鶴香水
登錄商標
ハンカチにもお召物にも
一滴二滴で良い氣持
花王石鹼本舖水野商會朝鮮西部代理店　大阪　大崎組商會
花王石鹼本舖東部代理店　東京　長瀬商會

日本名刀傳　五十六

東京　田邊南龍講演

津田近江守助直(七)

直助は大阪の町中歩いて何か奉公口はないものかと、種々心を碎いたが、どうも旨い手蔓が無いので何したら宜いかと三日目に天滿天神へ參詣しました、名にし負ふ天滿宮のことでありますから二六時中御參詣の絶ねたことが無い、直助は御洗水にて口を漱ぎ手を清め神前に額いて 直『私は播州赤穗在の生れ直助と申す者でございますが、何卒望みの叶ひますやう御利益を垂れさせ給へ』とポン〳〵と柏手をうち、一心不亂に拜みやがて立上がつてお鳥居を潜つて天滿の橋へ掛ると、テン、カン、チン、チンチンチロリン、テーン、カーン、と云ふ鎚の音、直助は人一倍耳に這入つた、見ると直彼方は刀鍛冶の住居と見えて盛んに打ち込む鎚の音が益々烈しくなつた、表に掛けたる標札に特に筆太に『細工場』として傍に『津田越前守助廣』としてある 直『ヤ、津田越前守助廣、さうか擬て岡島の旦那様から助廣と云ふ名は聞いて居る、是れが越前守助廣と云ふ方のお住居か、ウム、待てよ、故郷を出る時に奉公してお給金を蓄め、旦那様に良い腰の物を買つて上げたいと思つたればこそ、繁華な大阪へ足を止める氣になつたんだが、此刀鍛冶の家が目に付いたと云ふのも何かの縁だらう、可矣、此家へ頼んで十箇年無給金で働いて、給金代りに津田越前守に一刀を鍛つて戴き、それを土産に歸りたい、十箇年無給金で一心不亂に働いて願つたら叶へて下さらぬこともあるまい、一つ御談して見やうか、イヤ、待てよ……十年無給金で働く位なら寧ろお弟子にして下さいと云つて頼んだら是れも承知して下さるだらうから一層刀鍛冶になつて十年ウンと修業したら蟻の思ひも天にとやら、刀鍛冶になれぬこともあるまい、虎と見て石に立つ矢の例もある、一心になつて良い刀を造ねてそれを旦那様に差上げやう』と思はず仕事場を覗きますと、今や刀を鍛ねて居る最中、テン、カン、テーン、チン、チロリン、と云ふ鎚の音に、我れを忘れて格子先に摑まり夢中になつて見惚れました、其の中に愈々鎚の音が烈しくなつて、テーン、カーン、チン、テン、カン、チン、チロリン、テン、カン直助釣込まれて大聲に 直『テン、カン、チン、チン、チン、チロリン』と言ひながら拳で格子を叩いてゐる、折しも向う鎚を打つて居た總領弟子の重吉が戸口へ立出で 重『オイ〳〵仕事の邪魔をしやアがるな、喧しい、默つて見て居ろ、何だ格子を叩きやアがつて……』助廣が『コレ〳〵重吉、何を言ふんだ、人様に失禮なことを申しちやアならねゑぞ』重『へー、ですけれど仕事の邪魔になりますから……』助『仕事に掛つて居て他の言ふことが目に見えたり耳に這入るやうぢやア、まだまだ氣の入れ方が足りねゑぞ、一心に仕事をすりやア他の言ふことなんぞ耳に這入るもんぢやねゑ、早く此方へ來て精々と仕上げてしまへ』重『へー、御免下さいまし、ツイうるさかつたもんですから……』直助は感心して『豪い、恐れ入つたものだ』重『彼様事を言つてやがる』助『默つて居ねゑか』重『へー、濟みません』とテン、カーン、再び仕事に掛る、暫くして仕上がつたものか汗を拭ひ、手足を洗つて越前守助廣は、仕事場の上り口にドッカと腰を下して直助の様子を熟々と見ましたが、やがて聲を掛けて 助『お前さん、刀が好きかい』直『へー』恐れ入りました、大好きでございます、實はお邪魔と存じながら我を忘れて拜見して居りました 助『ウム、何處へ往くんだい』直『江戸へ參らうと存じ是迄參りましたが、少々お願ひ申したい次第がございまして此方様の前へ立止まりましたのでございます

▲朝鮮發賣元 松の緑 ▲名産 明治屋▼

五月廿七日

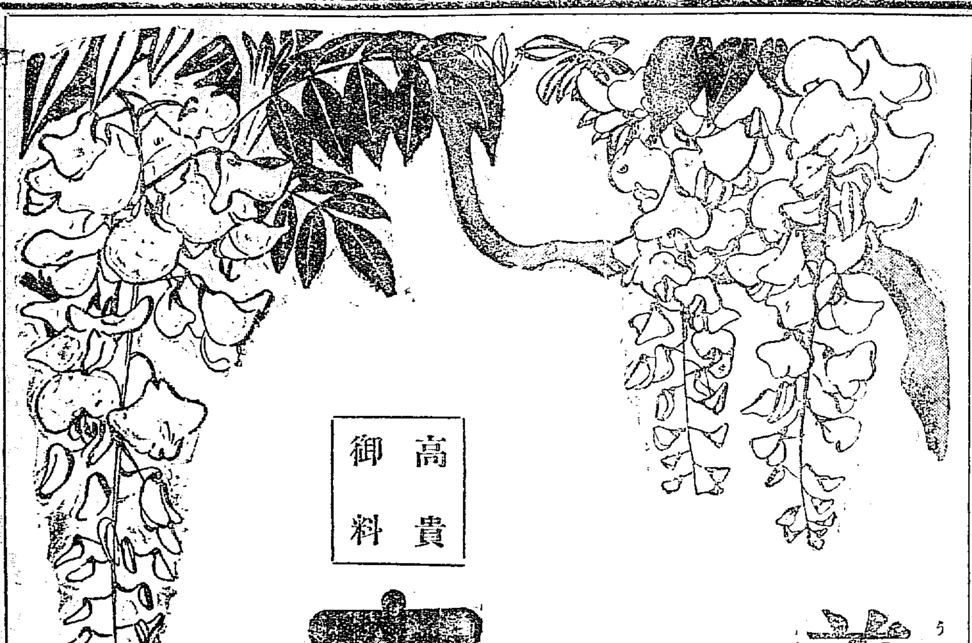
(舊)四月廿八日 火曜日▲つちのえとら▲一白 中劍北▲先勝▲尾▲ひらく

▼一白▲愼むに越した事のなき日
▼二黑▲引き立て榮のせざる日
▼三碧▲結構なる美事な日に何か喜びごとのある日諸事進んですべし
▼四綠▲目上の引立てを得べき日にして諸事思ひのまゝに運ぶべし
▼五黄▲餘りハキ〳〵せざる日
▼六白▲都合好き日にて諸事意の儘に行く日なれど不正なれば不可
▼七赤▲自然と物の融和する日にて正しく進まば福運に邂逅ふべし
▼八白▲ちよつと思案に餘る日
▼九紫▲親切の先方へ通らぬ日

ライオンキャラメルは品質本位滋養に富み夏季にても流るゝ憂なし

特選 本セルハカマ
壹着に付金拾圓市内御報次第持參地方送料十二錢
京城日報社代理部
京城太平通(電話長六千九番) 振替京城三百番

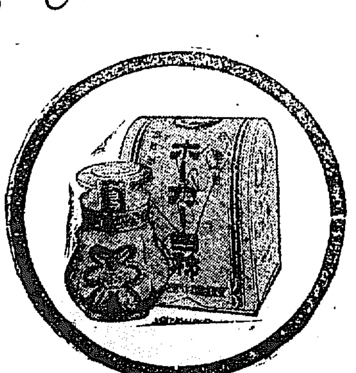
贊化病院
京城明治町二丁目 電話二四番
内科 小兒科 入院隨意
施療す 毎日五名を限り
醫學博士 古城憲治
金澤醫學士 打田義芳



高貴御料
ホーカー白粉
美しい色艶
床しい芳香!
花粉を練つたやうな豊かな白粉幽雅な匂ひ
初夏の淸々しきお化粧に一際氣高さを增す
ノリノビが好く誰人の肌にもピッタリ合ひ
着物の襟を汚さぬ新發見のねり白粉
●全國到所の小間物化粧品店藥店雑貨店、荒物店等にて販賣す
若し最寄の店に品切れの節は振替又は三錢切手代用にて直接本舗へ御注文下さい直ちに發送す

定價	一瓶	送料
	金廿五錢	内地六錢 鮮滿四十錢

ホーカー液 ホーカー白粉 ホーカー美髪液 ホーカースヰート 本舗
東京神田和泉橋際 堀越嘉太郎商店
電話神田一四三、一四四、一四五 振替東京一一五六



人參ニ優ル強壯劑
淫羊藿エキス(いんやうくわくえきす)
通稱三枝九葉草エキス

主効 神經衰弱、胃腸、貧血、腺病、ヒステリー、腎臓病、生殖器病、ヒポコンデリー、肝臓病、リウマチス、老衰、精力減退

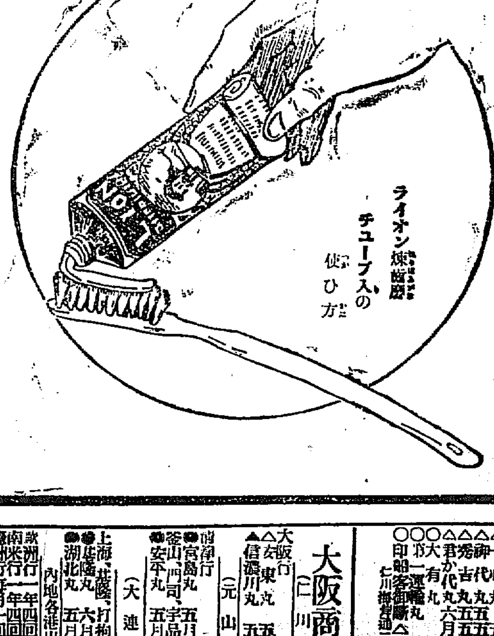
適應症 一、思考判斷及び記憶力を増す 二、勤勞者の疲勞を癒す 三、妊娠中の疲勞を癒し又疲勞を恢復す 四、産前産後及病後の衰弱 五、血の道氣鬱症 六、子なき人に良し 七、貧血虚弱を治し營養を良す 八、手足腰部の冷ゆるに良し 九、陰萎遺精及子宮病に良し

定價 二十瓦入 一圓 八十瓦入 三圓五拾錢 二百五十瓦入 九圓 (送料内地二十錢 鮮外四十錢)

全國一手販賣 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番
京城特約店 山北 岸島 天支 佐店 堂

カトウ 百毒下し
貴下は貴下の身體の爲めに
カトウ百毒下しを服用せられよ
そは獨り貴下の身體より病毒を驅逐するのみならず第二の貴下たるべき強壯健全なる子孫を得るの根本準備なり。
病毒遺傳は不文律の最大罪惡!!!
本舗 東京赤坂 四谷 伊勢加藤松榮堂 振替東京三一四七五九

香味さわやかなる
ライオン煉歯磨
卓れた效果。
心地よい芳香。
美しい容器。
優しい趣味
携帶に最も便



ライオン歯磨 ライオン石鹸 本舗 株式會社 小林商店
(1072-8)

尼崎汽船(仁川出帆)
木浦下ノ關大阪行
△赤城丸 五月
△一心丸 五月
△神代丸 五月廿九日
△秀吉丸 五月
△君が代丸 五月
○大有丸 六月
○共一丸
○運輸丸
印 [illegible]
船客御斷 [illegible]
仁川海岸通二丁目 [illegible] 高杉回漕店

大阪商船汽船出帆
(仁川出帆)
大阪行
△安東丸 五月二十日 正午
▲信濃川丸 五月廿五日 正午
(元山出帆)
浦潮行
●宮島丸 五月廿一日 [illegible]
釜山、門司、宇品、神戸、大阪行
●安平丸 五月十九日 後九時
(大連出帆)
上海、基隆、打狗行
●基隆丸 六月八日 前六時
●湖北丸 五月廿四日 後六時
内地各港出帆主要航路
歐洲行 一年四回 北米行 毎月
南米行 一年四回 孟買行 毎月
濠洲行 毎月一回 南洋行 毎月一回
御注意 [illegible]
大阪商船株式會社 仁川支店 電話二二番 [illegible]

日本郵船(仁川出帆)
大連、天津、牛莊行
新潟丸 五月三十日 正午出帆
高砂丸 五月 日 正午出帆
相模丸 五月二十日 正午出帆
郡合ニヨリ見合スル事アルベシ
仁川 [illegible] 一丁目 [illegible] 郵船回漕部

汽車 京釜線(南行) 同(北行) 馬山連絡 京義線(北行) 同(南行) 京仁線(仁川行) 馬山線 [illegible]

京城日報 第五版

公正雄大なる國民（六）

文學博士 椎尾辨匡師講演

戰爭、航空世界に於いて科學の力、物質の力の世界が現はれ、實力世界に於いて是れが世界的團結となり、平和世界に於いて一層複雜なる經濟、學術、法律等色々の問題となつて現はれる。而して正義世界に於て人類の道德性の問題となり、更に勞働世界に於て人間の全面の人間の人間たる全能力を發揮する問題となつて來るので凡そ此五つの改造問題に現はれて來る事柄は頗る顯著なる、疑ふべからざる事實に向つて充分に夫れを捉へて行かなければならない。即ち公正雄大なる國民が先づ踏み込んで行くべき問題は必ず斯う云ふ事實に相應するものでなければならない。顧つて惟ふに我日本帝國は實に過去に長く將來に永い處の無窮の國運を持ち、吾等は國運の進展を信じて止まないのである、無窮の發展、無限の進步を信ずる處の國民であるならば必ずや夫れに相應するだけの鮮明なる理想が無くてはならない。夫れ故今後の世界が上述の五つの改造問題に進んで行くのであるとしたならば他の問題は暫く別として、少くとも此五つに於て日本國民の實現せんとする理想が最も明瞭でなくてはならないのである。さうして是等五つの改造問題に於ては第一のものよりもだん〳〵後のものに於て人間の全能力を發揮することゝなるのである。第一航空力の問題に就て日本の狀態は甚だ不完全で是が軈て世界改造の大問題となると云ふことに思ひ及ぼす時實に遺憾に堪へない點がある。

日本のは飛行機ではない落行機だと皮肉を云はれても吾々は笑ひを以て看過しなければならぬと云ふ樣な始末であつた。然し決して何時迄も其通りではなく最近著しく發達を遂げつゝあるが、若し今後各國の航空力發達の曉を想像すると實に恐るべきものがある。で日本は航空力應用の戰爭に於ては有利な地位に立つて居る點もあるが又不利なこともある。で日本國民としては將來改造の上に出現すべき世界が航空力の世界であることを考へたならば吾々の全生活の上に一大改革を要することゝ思ふ。即ち利害の問題を別として世界は航空の世界となると同時に世界全體が一つに結付けられるものであるから日本も其協調の上に進んで行かなくてはならない。單に航空世界に對して日本が孤立しない許りでなく、同時に各方面の事柄に就て複雜に世界と結び付ける爲めに、思想上の方面に於ても經濟上の方面に於ても社會生活の方面に於ても大に密接に世界各國と協調を保つことが必要である。是れ航空世界と共に必ず現はるべき實力の世界に相應する所以で、實力の世界に立つて日本國民が相當の貢獻をして行くだけの力を備へなくてはならない。他の國々が如何に軟弱であらうとも夫を恃みとせず、日本自ら實力の世界を維持して行くと云ふ信念を持たなければならない。茲に於て國民全體が各般の方面から其生活の改善發達を要する譯である。次に平和世界であるが元來日本が强國若くは大國として認めらるゝに至つたのは陸海軍の威力に依ることが多いので智識又は經濟力或は地域の廣大と云ふことの爲めではない。然るに平和の世界に於ては日本は比較的長じて居るものを措いて比較的短所を以て活動しなくてはならぬので是が爲め吾々は大なる覺悟と努力を要するのである。

根本主義不變 對獨態度奈何

七日巴里に於て對獨講和條件手交されたる以來獨逸國內の輿論は沸騰し豫想以外に强硬なる態度を示しつゝある模樣なるが右は獨逸の與の手にて幾分にても條件を緩和せんと努力しつゝあるは言ふまでもなし聯合國は獨逸が若し調印を拒絕せば海上封鎖を嚴重にし

△經濟的に壓迫

し結局調印を受諾せしむる方針なり然れども能ふ丈寬大の態度を示し獨逸委員の質疑を許すことゝなりたるが、もと〳〵講和會議が聯合國單獨の問題に非ずして獨逸相手の交涉なれば或は根本方針に動搖を來さゞるも此末の點に於ては獨逸側の言分を聽取するに至らんも保し難し假令ば賠償金問題に關して三十箇年間に皆濟すべしとあるは三十五年乃至四十年とするも賠償金其ものに對して讓るにあらず獨逸委員の支拂能力に關し內情既に已むべからざるとすれば商交涉の餘地あるべし又軍備制限等に關しても例へば獨逸の海軍力を戰艦六隻、輕巡六隻、驅逐艦十二隻、水雷艇十二隻とあるを戰艦八隻（其他）とするも聯合側の要求する軍備制限の主旨は貫徹し[illegible]譯なれば[illegible]

△些末の點に讓步する

に至るべきか然れども主要の綱要に至つては寸毫も妥協の餘地なく若し根本的主張に對して讓步の態度を示さんか一國對一國の問題ならば格別獨逸對聯合國の問題なれば折角決定したる講和條件も絕壞を生じ再び巴里會議を開會せざるべからざるに至るべし故に今後獨逸の迂餘曲折は免れざらんが其根本方針は決して變更することなかるべしと（巴里來電通）

錬膽錄

三笑生

細川頼之

◇豪邁な足利三代將軍義滿を敎育したのは、細川頼之であつたことは、人の知れる所であるが、彼は、當時士道頽廢の間に在つて、確かに群鷄の一鶴たる人物であつた。

◇彼は、鉞鍼治を計り、士風の矯正に努めたが、狂瀾は遂に一人のよく回し得べきものでなかつた。是に於て、彼も遂に萬事を抛ち、世外に退いて、法體染衣となり、心靈の慰安を求むるに至つた。

◇頼之の師事したのは、通幻寂靈禪師であつたが、禪師は、曹洞の太祖瑩山禪師の高足で、當代に傑出した禪界の明星であつた。

◇彼は、明德二年四月の末、疾を示すや。末の刻大衆を召して垂示した。曰く『我が滅後汝等諸人常に諸緣を屛息して、一大事を究明し、洞上の玄風をして、地に墜ちざらしめよ。若し文字言句名聞利用に執着せば、吾が徒に非ざるなり。時至れり、吾れ其れ行かん』と、一衆遺偈を請へば『算計甲子、滿七十年。轉身端的。兩脚踏天』と書し、筆を擲つて逝いた。これ禪師末期一段の光景である。

◇兩脚天を踏んで、轉身するの玄機、誰か能く眞に眼を着けて仰ぎ見るものぞ。頼之は、斯うした峻烈な禪機に接して、專ら鍊心向上の一路を辿つたのであつた。

◇『人生五十愧無功。花木春過夏已中。滿室蒼蠅掃難去。起尋禪榻臥淸風。』は世人の吟誦已まない處であるが、是れ彼が意を世事に絕つて高唱した一絕である。

◇幻滅有漏の閙塵の外に、茶と禪とに榻を廻つて香しく、脫下淸風の半するところ、靜かに禪心を養つた彼の悠々閑適の態が偲ばれるではないか。

○訂正 前號所揭早田立洞詩『猶除酒』は『亦除酒』の誤

[illegible]に比し船腹過剩なるより徒らに無意義の競爭を繰返すのみであるか[illegible]市倫敦間の純然たる國際定期航路を開始すべく協定み結びて[illegible]こすべく更に爾來本邦社外船が國際[illegible]航路に就航するに至りしは注目に[illegible]するものと謂ふべく此外一流社[illegible]るゝ以外一切山下汽船にて引受ける[illegible]

△意外に鞏固

[illegible]なる運動が行はれて居る而して[illegible]山下汽船の刷新に對する熱心は[illegible]社間に搬波瀾を生ずるの外、[illegible]社船に好感を有する[illegible]なれば次期契約に關しては[illegible]

[illegible]車にて平壤より釜山に來り午後八時より知恩寺に於て佛教の第一[illegible]後四時より第一小學校講堂に於て文化の權威同午後八時より知恩寺[illegible]一般のために念佛生活に就て講演ありたるが聽者多數[illegible]

婦人世界 六月號

小杉天外氏の傑作大長篇小說 靈鐘（れいしやう）
◆鬼面の怪女が…
◆怪女は何者ぞ
◆父に反き母に反き
◆牛乳と母乳優劣論
◆胎敎より乳兒の敎育
◆子供の盜み原因…
◆貞操蹂躙の訴訟
◆起こる賠償金の法律
◆法律を知らぬため失敗した
◆新婚の婦人へ母より
◆準備を敎ゆる書
◆婦人は果して弱きものか
◆無學の婦人が家產を興した實話…下田歌子
◆肺病治療法…村井弦齋
◆肺病全快實驗談
小說 銀水引（ますく面白い）…泉斜汀
◆縮れ毛と不毛症は治るか
◆流行の束髮…吉田梅子
◆素人にも出來る美顏料
◆工女の勞働時間
◆自然の力を利用の健康法
一冊 二十七錢 發行所 東京 實業之日本社 振替東京三二六番

夏が來た なくてはならぬ
芝浦製作所製 旋風機
時は今豫約の方へは大割引提供 至急申込あれ
京城旭町一丁目一九六 合資會社 江副商店 電話三一二二番

高級社員採用
希望者ハ履歷書持參本人來談ノコト
京城南山町三ノ一三（京城ホテル向）
大正生命保險株式會社京城支部 電話九三三番

新しい言ひ表し方
左々木文學士著 演說 談話 手紙 作文 應用 新語 用法
ウィルソン、ロイド・ジョージ、クレマンソー、大隈重信、加藤高明、尾崎行雄、牧野伸顯、澁澤榮一、吉野作造、黑岩周六外數百名士の用語
新らしい意見は新しい言葉の使ひ方に依て始て完全に社會に發表する事が出來る。本書は新時代に應ずる新しい言ひ表し方を研究し世界的諸名士の用語を選擇し名言佳句を辭典體に類別したるもの、演說、談話、挨拶、手紙、作文等何も新時代の社交生活に立たんとする人々の座右に缺く可らざる至便の寶典である。（頭美本八拾錢送六錢）
京城本町 大阪屋號 振替三七五二番

富士印 ぬいめなし蚊帳

特賣品
本麻蚊帳 六疊釣（六寸法）（萌黃）富村印四尺五寸足 十圓六十錢
同 八疊釣（五寸法）（同）同五尺足 十三圓九十錢
同 六疊釣（六寸法）（萌黃）別神風印五尺五寸足 十七圓三十錢
同 八疊釣（五寸法）（同）同五尺五寸足 二十一圓十錢
本麻縫目なし 六疊釣（六寸法）（萌黃）若柳印四尺八寸足 十四圓三十錢
同 八疊釣（五寸法）（同）同五尺足 十八圓九十錢
同 六疊釣（六寸法）（萌黃）常盤印五尺五寸足 十九圓六十錢
同 八疊釣（五寸法）（同）同五尺五寸足 北四圓七十錢
同 六疊釣（六寸法）（白晒無地）花白妙印五尺足 十二圓八十錢
同 八疊釣（五寸法）（同）同五尺三寸足 十六圓九十錢
同 六疊釣（六寸法）（白地水色裾ぼかし）花眞砂印五尺足 十三圓五十錢
同 八疊釣（五寸法）（同）同五尺三寸足 十七圓七十錢
同 六疊釣（六寸法）（白晒無地）天白妙印五尺三寸足 十五圓十錢
同 八疊釣（五寸法）（同）同五尺三寸足 十九圓十錢
同 六疊釣（六寸法）（白地水色裾ぼかし）天眞砂印五尺三寸足 十五圓九十錢
同 八疊釣（五寸法）（同）天眞砂印五尺五寸足 二十圓

內地送料（五寸法）[illegible]（六寸法）[illegible]
臺灣、樺太 送料（五寸法）[illegible]（六寸法）[illegible]
朝鮮滿州は臺灣と同樣なれど凡て書留なり 代金引替は十錢增し

營業品目 蚊帳各種 夜具座蒲團 めいせん セル地 近江上布 絹羽織地 疊表花莚
東京日本橋 近江屋 富士印縫目なし蚊帳發賣元
伴傳商店
電話本局 二四〇番 四六二番 三六八番 五〇[illegible]番 振替東京 六一六一番
△御注文の來御報呈仕候▽

文藝倶樂部 六月號
小說 溺れ死んだ女…野村愛正
情話 結婚奇談（騎劇小說）…叶九段
◆大正うめごよみ…月岡かなゑ
◆木魚の音（風流小說）…長井金升
◆怪談 指輪の怨…前田綠夫
◆滑稽小說 水の小車…[illegible]
◆不思議な斬り込み…武田[illegible]
◆疑問の心中（探偵）…松[illegible]
江戶氣分新版 閻魔帳 / 旦那を狙ふ匿閣屋 / 生命保險表裏 / 世間話 供御に迷る強肝 / 東京の渦卷 / 女に釣られるの記 / 除碌多き詩 / 初島戀のロマンス / 犬狸押騙 / 瀨戶內海伊吹島 / 當世商賈談
四本柱 力士の東西見合して / 土俵の外の人氣取…小泉葵南 / 海外より中外に…[illegible] / 大阪寄席興隆時代…[illegible] / 近頃花柳界の日記…[illegible]
◆まむしの治郎吉…齊藤[illegible]
◆修善寺の一夜（紀行）…森[illegible]
◆戲場ちやん〳〵相生…[illegible]
◆名士 竹冷翁終焉の記…[illegible]
◆洒落忠者（新作落語）…愛宕天狗
◆駒形河岸（新作講談）…田村西男
◆一階から二階へ招く…[illegible]
◆猫の往生…桃川如燕
六月號 定價四十錢 郵稅二錢 株式會社 博文館

第拾五期決算報告
貸借對照表（大正八年三月三十一日）
朝鮮皮革株式會社

貸方	金額	借方	金額
株金	[illegible]	未拂込株金	[illegible]
諸積立金	[illegible]	土地建物	[illegible]
預り金及假受金	[illegible]	機械及什器備品	[illegible]
借入金及割引手形	[illegible]	製品及原料品	[illegible]
未拂金及支拂手形	[illegible]	貯藏品及其他勘定	[illegible]
未拂配當金	[illegible]	預金及假拂金	[illegible]
前期繰越金	[illegible]	未收入金及受取手形	[illegible]
當期純益金	[illegible]	前年度損失金	[illegible]
合計	[illegible]	合計	[illegible]

右之通リニ候也 大正八年五月
取締役長 [illegible] 取締役 [illegible] 監査役 [illegible]

寫眞 [illegible] 日高寫眞館

京日案內 [illegible]

古本熱心高價買入 [illegible]
○電話高價買入 ○光化門通 ○坂本 ○電一四四七

月收の御方へ極秘迅速 諸公債株券債券買入 京城大和町三ノ參 [illegible]

齒科書生募集 希望者履歷書持參 京城櫻井町 滿田齒科醫院

賣地 [illegible] 御希望の方は直接御照會相成度候

小僧 貳名 店員 壹名 入用 京城旭町 中島印刷所

求貸家 住宅向京城龍山仁川 西洋建日本建鮮建 大小何レニテモ可御報直ニ參上 龍山元町四ノ八六 北原

金融 月收者君に秘密迅速 信用貸御報次第參堂 京城本町三ノ四六 大和屋質店

旋盤工 五名 仕上工 十名 募集 黃金町二ノ（東拓前） 小河原鐵工所 電一九一三

內外勤社員採用 希望者は履歷書持參午前中來店 京城黃金町一ノ八 帝國生命保險株式會社支店 電話五五七

測量設計製圖 土木建築、水利、鑛山、鐵道、水力電氣、鹽田等 京城大和町 京城工務所

會計係 壹名求ム年齡三十五以下簿記ニ精通スル者保證人ヲ要ス履歷書持參 仁川海岸町一丁目 堀商會

ほねつぎ さくうちみ 一切の治療御依頼に應ず 明治町 柔術道場

京城日報編纂 最新書式大全
◆菊版總クロース 四百九十八頁 定價金壹圓 郵稅金十錢◆
全書ハ朝鮮關係法規ニヨリ之レヲ十部ニ大別シ第一部民事▲第二部商事▲第三部刑事▲第四部交通通信▲第五部訴訟▲第六部產業▲第七部特許意匠商標實用新案▲第八部恩給年金▲第九部學務▲第十部雜ニ分類シ各官廳ニ差出スベキ屆書、申請書、訴狀、願書、不動產及商業ニ關スル登記、契約、通知、催告、答書ヲ始メ[illegible]市場、水產、農林、銀行、鑛業、度量衡、特許意匠商標、實用新案[illegible]等ニ至ル迄內地共通ノ書式テモ掲載シ一々關係法規ヲ摘記シタル詳細ナル樣式ト[illegible]論ナク官吏法律家實業家敎育家其ノ他各階級ヲ通ジ何人ニテモ座右ニ一本ヲ備フルニ於テハ他人ヲ煩ハサズシテ世事一般ノ公私ノ事務ニ付機敏ニ處理スルコトヲ得ベキ良友必携ナルヲ知悉セラルベシ
發行所 京城日報代理部 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 電話六〇〇九番
取次販賣所 △大阪屋號 △岩松堂 △日韓書房

廣告
今般載寧郡所在弊社專用銀山面輕便鐵道五月二十日ヨリ一般旅客及貨物ノ運輸取扱ヲ開始致候
三菱兼二浦製鐵所

列車發着時刻及賃金表

驛名＼列車番號	四	六	八	賃金	哩程
上海驛	前一、〇〇	後一、〇〇	後五、〇〇	〇	〇
廣灘驛	一、二五	一、二五	五、二五	〇、〇九	二、九
石灘驛	一、四二	一、四二	五、四二	〇、一八	五、六
內土驛	二、〇〇	二、〇〇	六、〇〇	〇、三〇	九、四

驛名＼列車番號	三	五	七	賃金	哩程
內土驛	前九、二五	後〇、二五	後三、二五	〇	〇
石灘驛	九、四八	〇、四八	三、四八	〇、一三	三、八
廣灘驛	一〇、〇五	一、〇五	四、〇五	〇、二一	六、五
上海驛	一〇、三〇	一、三〇	四、三〇	〇、三〇	九、四

新家庭 六月號
田山花袋氏の長篇小說「くれなゐ」本號から連載
悲しい戀を先生獨特の筆で一年に亙つて描寫されやうとしてゐます。
△芝居小說 乳人政岡…渡邊霞亭
△家庭實話 三熊さん…永代美智代
△滑稽小說 伯母さん…東健而
△淺艷情史 虞美人草…下田歌子
■鮮明な代表的婦人の寫眞濃版
■大正婦人風俗（十二色刷）…伊藤小坡
■詩集を持ちて（油繪）…淸原重一
■三色版一枚と二色版が二枚
■コロタイプの貴夫人令孃かゞみ
■家庭漫畫女中の留守…岡本一平
■初夏の水鄕潮來見物…近藤浩一路
■全國高等女學校生徒の噂
■お臺所科學ニシンとイワシ…岸上博士
■東京で味へる長崎の料理（食通談）…岡野知十
■婦人身嗜みとしてのお化粧法…尾山みさを
■流行新綠記（本誌獨特の流行談）…平山蘆江
■其儘應用のきく夏向半襟圖案…森田久
■これからの園藝の注意…篠原最好園
讀者を興奮させつゝある長田幹彥氏の「しぐれ唄」
此小說は到頭世間の大問題になりました。それ程に深刻な小說です。
一部 定價四拾五錢 送料貳錢五厘 東京芝公園 玄文社 振替東京一四一七七

◇獨最後訓令受領

獨逸講和委員は最後の訓令を受領したるが聯合國は之が爲に何等條件を變更す可き態度を示さず（巴里電報）

◇伊首相とフ港問題

伊國首相オルランド氏は四國會議に出席せず然れごフユーメを自由港とするには同意を表せり（巴里電報）

◇信認狀の交換
＝聯合國對墺太利委員

巴里來電に曰く聯合國及び墺太利講和委員は十九日サンゼルマンに於て信認狀を交換したり其の式は僅に二分間にて終れるが日本委員はこれに參列せず（香港電報）

◇伊國要求領土

伊太利の要求には紅海沿岸のチリーニス及びシヤツト地方の墺地及び中部阿弗利加に於る植民地を含めり（巴里電報）

◇獨紙調印拒絶主張

獨逸社會黨機關紙フオルアエルツ紙は「縊死すべきか若しくば窓より飛ぶべきか」と題する社說を掲げ獨逸國民たるものは此際講和條約に調印し聯合國の奴隷と化せんよりは寧ろ調印を拒絶し失業の結果餓死するに若かずと主張し政府を鞭撻して講和條約調印を拒絶すべしと論ぜり（巴里電報）

◇露對羅宣戰布告

莫斯科よりの公報に據れば羅馬尼はベツサラビヤを撤退せざるを以て露國過激派政府は羅馬尼に對し戰爭狀態にある旨の布告を發せられたり（香港電報）

◇波蘭國境意見聽取

波蘭議會委員たるサバノフ及びトルボノフ兩氏は十四日朝專門家を招致し波蘭東方國境に關する意見を聽取せり（巴里電報）

◇米特別議會召集

米國特別議會召集され講和條約國際聯盟の運命を決すべし（香港電報）

◇我公使抗議
支那學生排日運動に關し

小幡公使は支那留學生の排日運動益々蔓延せんとするに鑑み二十一日午後正式に外交部に抗議せるが其の要旨は「蕪湖に於ける日本人襲擊南京上海芝罘に於ける排日の例を引き又國民自決會の宣言の如きに外交委員會事務主任林長民が署名せるは人民の暴動を激勵せるもの也日本政府は數回青島の支那に還附すべき事を聲明せるに拘はらず斯の如き行動を取るは日支兩國の感情を險惡ならしめ由々しき事態の生ずるやも知れざるを恐るゝが故に特に支那政府の取締を希望す」といふにあり（北京電報）

◇長春學生の騷擾

廿五日午前八時頃長春支那師範學堂及び中學校生徒約二百名は隊伍を組み「學生愛國會」「萬休滅亡」等と記せる大旗に「提唱國貨」「喚起醒民」「維持國權」「同胞注意」等と記せる小旗を手に手に振翳して長春城の內外を練り歩き山東問題に關して大道演說を爲し謄寫版刷りの檄文を配布したるも支那官憲の爲め解散を命ぜられ同十一時頃引揚げたるが商人間には之に耳を藉す者少き模様なるも謠言午後より頻りに起り我附屬地の支那人間に不安の念を懷くもの多く我官憲目下警戒中なり（長春特電）

◎米國の關稅
保護か自由か

▼保護政策を比較し（一）戰後國民の負擔を輕減する[illegible]

者保護の爲めには自己產業を擁護して國內勞働者の安固を保障せざるべからず[illegible]

米國は國內產業の域を脫して海外に努めつゝあるも昨秋の選擧に於て統領が議會の決定を拒否するや否やは右關稅改正法案に至大の關係[illegible]

◇對支新財團と帝國

對支新財團に對する帝國政府の意嚮は大體之れを是認することゝなり居るも陸軍其の他の方面に於て這は帝國の支那に對する特殊利益を壓迫するものとして憂慮する者鮮からず滿蒙以外山東省其他に於ける帝國の權利々益を完全に保留する途に於て尚ほ考慮を要す可しと爲しつゝあり（東京特電）

◇我新銀行團組織か

對支新四國借款團に對する我銀行團組織協議のため高橋藏相は二十四日官邸に井上、木村日銀正副總裁を始め東西各銀行代表者を招待し井頭藏相より一場の挨拶あり正午午餐を共にし午後意見の交換をなし一時半散會せり新銀行團組織に就いては直ちに銀行側に於て協議する由傳へらる（東京特電）

◇新聞紙法改正案起草

新聞紙法改正案は內務省にて起案しつゝあり七月中には脫稿す可きが罰則の連帶責任より執筆者を除きたるを主なる改正の一とす可きも保證金の增額に對しては異論少からず（東京特電）

◇學士院授章式

帝國學士院にては廿五日午後十時より左記授與式擧行されたり（東京電報）

▲恩賜章　理學博士石原淳▲學士院章高田忠秋、醫學博士山脇勝三郎、醫學博士市川孝一、石川時治

◎斯くして南洋貿易を進展せしめよ
（新嘉坡商品陳列館々長）木村增太郎氏談

南洋と云へば通俗的に『サラウアツク、ボルネオ、スマトラ、ヴイルヘルム、ニユーギニア、セレベス、ヒリツピン、マーシヤル、カロリン諸島より馬來半島、ジヤワ、暹羅。東印度等を指すが又廣き意味に於いて濠洲より英領印度をも南洋と言つてる是等南洋諸島に對する

▲我國の位置 は英佛諸國に比し距離も近く又維新當時から我國の海外貿易は總て是等南洋諸島を根據とした歷史をも有して居る更に南洋の民族を見るに其の主なる馬來民族は容貌や生活狀態に於いて甚だ我大和民族と相酷似したものがあつて或ひは此の馬來大和の兩民族は其祖先を同じうせるものならんと思惟せらる、斯の如く歷史上位置上將た民族的に萬事に關係淺からぬ南洋に對する

▲我が貿易界 の微々として振はざる事は甚だ遺憾とする處である千九百十四年に端なくも世界の大戰亂勃發せし以來歐洲各國の物資は漸次缺乏するに至り漸く我對南貿易は盛大となり其總額は實に三億萬圓に達し戰前の貿易額に比較すれば約十數倍の額を見るに至つた即ち戰前の貿易といふものはジヤワより砂糖若干を輸入し我國より雜貨類の幾分を輸出するに過ぎなかつた、然るに歐戰の結果十數倍の發展を見るに至つたとは言ふもの、南洋諸島の貿易額即ち輸出十七八億萬圓輸入十二三億萬圓といふ總額凡そ三十億萬圓に比すれば

▲僅に其一割 に過ぎないのである而も其の激增したる貿易の諸物品は殆んご戰前に於ける粗惡なる製品のみにて新式の工藝製品といふものは未だ實に微々たるものである元來馬來民族は民族としての價値は實に低級で從つて其の使用すべき物品も粗惡低價なるものを好むといふ想像をなしてゐるものが我が商業界にはありはしまいか果して然りとすればそれは大なる見當違ひである尤も民族としては低級ではあるが南洋諸局全體に於て現在使用されつゝある物品は實に特製の

▲耐久力に富 んだものばかりである從來南洋市場に於て商權を獲得してるたのは英國であつて獨逸和蘭佛蘭西の諸國が是れに次いでるた然るに戰亂勃發以來米國が大いなる發展をなして現在は英國に次いでるるが是等文明國の物品を使用してるる南洋民族が如何にして我が粗製濫造品を喜ぶ事が出來ようか殊に彼地方は農業地であつて或る時期即ち收穫の時期に至らねば金錢の自由を得ないから購求する物品も其の收穫の時期より次の收穫期迄耐久使用の出來得る物品でなければ彼等としては

▲歡迎する事 が出來ないのである是等の點よりして彼等は特製物品のみを使用してるるが我が國より輸出されつゝあるものは粗製品のみにて特製品の多く紹介せられてるない事は實に憂ふべき事である是れ等に就ては種々なる原因もないではない即ち物品は我が特製品であり乍ら外國の商標が附してある爲めに徒らに外國品として紹介されてるるものも尠くはない、それは所謂歐洲人として戰亂中の商權を繼ぎに我特製品を先づ自國に輸入し而して自國の商標を附して更に南洋に輸出する等の策略を廻らせるのも其一因として見るべき者ではあるが從來日本製品は安價なる粗製品として既に定評があつたのである（東京支局）

◎取引所の二問題
仁川米豆取引所社長　若松兎三郎氏談

曲折波瀾を重ねて漸く收拾し得たる仁川米豆取引所は尚ほ將來の事業經營上に於ても幾多の難關あるべきは豫め覺悟を要する事であるが今日に於て將來の方針、計畫に就て語るのは尚ほ聊か憚る處がある、のみならず私としては未だ何等の準備研究を遂げず腹案の確固たるものを有せぬから此際總ての事項に就ては重役諸君に信賴し其の建案意嚮を俟つて之が判斷を下し而して愼重業務の進捗を計りたいと考へて居る、差當つて

▲最も困難と 感じ且つ重大なる事項として考究を要する支配人問題の如き人物の詮衡に先きだつて先づ其の方針を決定するの必要がある即ち急遽其の適任者を物色して一日も早く椅子に就かしむるか或ひは當分任意の處置を執つて其の間に充分考究適任者の選定を爲すか之等も廿六日開催の重役會に於て決定したいと考へて居る若し夫れ其の人物選任に就て從來唱へられつゝあるが如くこれを內地に求めんか或は取引所の業務に精通する所謂辣腕家は之れを得べし然れども土地の事情に通せざるの不便を免る能はず支那人は物品を取扱ふものに非ずして人を取扱ふ者である所謂關係諸多の事情に精通すると共に人を了解する事は

▲業務を完全 に遂行する上に於て最も必要條件の一たるものも考慮するの必要があると信ずる、次は仲買人の資格條件並に定員增加に就ても今遽に發表を躊躇するが何れにせよ之等も重役會の意見に參酌して決定を見るべき筈である仲買增員の如き自然當業者の競爭的傾向を帶ぶるが如きに至らば却つて惡弊を醸すの恐れなきを保し難く一得あれば必ず一失あるの當例要は一時に增加するを避けて漸增の方針を執るかも知れない、鮮人仲買店を置くは時代の趨勢として當然で今日に至つては

▲既に內鮮人 を殊更に區別するの要あるを見ず或は容易の關係上仲買組合の利害に關する意見もあるべきも之等に就ては充分聽くべきは聽くの方針を以て大綱は實行するの考へである仲買の資格としては必ず名實相伴なふものならざるべからざるは論を俟たぬ處で取引所の營業成績如何は實に善良なる而して堅實なる仲買の營業を俟つて始めて應援し得るものなるが故に此の點に就いては充分の調査研究を怠らず以て常に優良名實共に具備せるものを必要條件とするのである從つて從來或は名義と實際とを異にせる仲買店の如き此際

▲愼重の調査 を遂げて廓淸するの要あるを認むる者であるこれ事情は的確に値するも營業の方針を過らざらんが爲めである而して仲買の候補に就ては僅に仁川だけに止まらず廣く朝鮮全般に亘つて其の適材を得るの至當なるは取引所自體が單に一仁川の公定機關に非ずして廣く朝鮮に於ける經濟界の中心たるべき使命よりして當然の事たるを思ふのである

◎取引所重役會議

仁川米豆取引所は二十四日株主總會に於て選任せる第一回の重役會を二十六日午後一時より取引所上に開催し事業進捗上に於ける重大要件に就き協議を爲し社長の互選を爲す筈なり

◎退職金問題の眞相と會社の方針
滿鐵京城管理局長　久保要藏氏談

滿鐵京城管理局員が退職金問題に就き不穩の態度を執つてゐるなどゝ云ふ說がある

▲問題の眞相 と方針に就き久保局長を訪へば局長は曰く『此問題は內部の給與に關するものであるから予としては何事も云ひたくない又外部に言ふべき筋でもあるまい然し乍ら一二新聞や通信で一萬の局員結束して局長に迫るとか何とか過激の說を傳へられるやうだから一言京日を通じて事實を一般に告げたい、元來此の問題に利害を感じてるるのは大正六年七月三十日鮮滿鐵道統一の際退官しないで來る七月卅日勅令で決定された二年の期限滿了し官吏の身分を失ふの餘儀なきに至るも然も恩給年限に達せざる者二百六七十名に過ぎないのである、それらの人の內何事か此の問題に付協議をした者はあるらしい唯事に對し直接若くは文書により

▲不穩の態度 を以て迫ると云ふ如き事は全く無根の事であり又多年官吏として勤續せし人々に左樣な不心得者は恐らく之れなかるべしと予は信じてゐる…然し乍ら如何にして此の問題が起つて來たかと云ふに一昨夏の鐵道統一當時鮮滿鐵の從事員で滿鐵に引繼がるゝものは官吏の身分を保有さるべしとの事であつた而して如何なる期間その在官の儘を續くるかは容易に分らない、唯中には永久保有さるゝならんとの解釋を下してゐたものもあつたやに聞く所が併鐵切迫して公布された勅令を見ると官吏身分保有者は向ふ二箇年間と云ふ制限がついてゐる、コレは大正六年の七月末に僅少な年月で恩給の特典を得る能はざる者に對し殊更に與へられた

▲國家の恩惠 であらう然も來る七月卅日が來ても尚ほ滿十ケ年の恩給年限に達しないものは所定の退官賜金のみで滿足せねばならぬ、然し乍ら此の退官賜金には六年七月より八年七月までの二ケ年をも加はり居り一方滿鐵では六年七月より社員の勤續待遇をしてるるのであるからダブル式となるのであるけれどもそれでも鮮鐵が滿鐵に併合されしため失官し遂に恩給を收むる能はなくなつた人々に對しては予等も氣の毒と云ふ感念を有ち實は相當の事を

なすべく（恩給にあらず）夙に腹案は出來局內の幹部にもよく〳〵話して居るのである唯だ此の事は理屈より云へば

▲優待の途を 講ずる必要はない、國家に於て之をなすを至當とせんナゼならば鮮鐵の滿鐵委託經營は國家政策の發動のためでありその結果不幸に會う人は政府が面倒を見るべきものだからである然しその理屈はぬいて相當の特典を與ふる事は七月三十日以後乃ち廢官後になすべき事で、それ以前に退社した者は官吏として退いたのであるからその相當の事に浴しないのは當然であらう、事實は以上の通りで何等荒立て、ごうかう云ふ者はない筈で實は予は不思議に思つてゐるのである尚ほ來る七月三十日迄に恩給年限に達し然も他に何等かの特典を求めんとするものあらばそは多慾と言ふべく考慮に上すべき筋であるまい』

◎取引所支拂期

仁川取引所に於て仲買人に支拂ひを要する金額は百十七萬圓に上り居れるが右額は今回公募せし新株のプレミヤム六十五萬六千圓並に朝鮮殖產銀行よりの借入金を以て充當すべきもその支拂時期の如何は仲買人の立場並に取引所にとり主要の關係あり一部仲買人は既に二十四日臨時株主總會を開き役員の選任を終り事務の進行を圖る事となり以上直ちに支拂ひを開始されたしとの意向を有しその向きに交涉中なるが取引所としては開業前に支拂をなす時は三四の仲買人を別とし多數仲買人へは取引所より收受すべき金額より容易に支拂ふの多額なるやにて旁々不都合を生ずる處もあり多分六月二日の開場後之れを行ひ成るべく未收受金を有する客筋にその責賣取引を依賴する事ならんと

◎信號所設置

二十六日附總督府告示を以て慶尙北道慶州郡陽北面甘浦里に暴風警報信號所を設置さるべき旨發布さるべし

◎土木建築講演會

市內長谷川町朝鮮土木建築協會にては來る二十七日午後正七時半より同町銀行集會所に於て本年度第三回講演會を開催する由なるが京城府よりは特に同府技師杉工學士出席し『京城下水道に就て』の題下に現在實施中の同水道に關する實際上の詳論を試むる由講演終了後は直ちに會員の茶話會に移り各自意見の交換及び數種の餘興を催す筈なりと

◎商議經費建議
京城

商業會議所會頭[illegible]

大阪三品特電

[illegible]

◎金谷府尹視察

金谷府尹は廿五日より約二週間の豫定にて府內各公私立學校を視察する筈

◎人見理事出發

新任東拓理事人見次郎氏は二十六日午前十時南大門驛發列車にて家族同伴東京に引揚ぐ

◎頭本代議士出發

浦鹽の日本弘報局主任頭本代議士は龍山軍司令官邸に滯在中の所廿五日朝京城出發二十六日門司出帆の便船にて浦鹽に向ふべし

◎川上滿鐵理事

滿鐵總務部長兼大連管理局長川上俊彦氏は二十六日午後七時二十五分南大門驛著同五十分發列車にて東上する由

◎新舊課長送別會

總督府農務課職員一同は二十四日夜七時より千代本に於て青木、田中の新舊課長送別會を催したり

人事消息

▲池邊龍一氏　前總督秘書官及び總理大臣秘書官たりし池邊龍一氏は其後朝鮮銀行に就職し東京々店勤務中なりしが今回木村理事と共に歐米漫遊の途に上る事に決したるを以て本店に挨拶方々二十四日夜來城同夜花月にて荻田總務局長以下官房高等官一同の歡迎宴あり二十六日朝京城出發歸東すべし
▲池田龍一氏　二十五日夜退城
▲田村保氏　同上
▲熊本利平氏　同上
▲武井宗十郎氏　同上

烏瞰錄

明石臺灣總督は世間の口の端に上るやうになつてから例の氣性で誰が何と懇願しても容易に描いて呉れぬ▲其れが近頃怎うした風の吹き廻しか軍人仲間を驅廻つて逆に達磨を押し付けはじめた第一の犧牲者は田中陸相『オイ田中、乃公が達磨を描いて遣るから貴樣の書齋に掛け此の達磨と同居すると大悟徹底疑ひなしだ』▲と言ひ掛けて調子を落し『君眞劍に表裝するなら持つて來るがドーかネ』と懇談的▲如才のない陸相『是非描いて呉れ給へ立派に表裝するよ』とそらさぬ挨拶▲幾干もなく持つて來たのは疊一枚位の閣下の顏ソツクリな大達磨畫幅飛び上がつた見事な出來榮但し表裝は上等たるべしとか註文▲陸相早速經師屋に命じて小百圓もかけ立派な表裝をして書齋の正面に掛けて置き其旨總督に通ずると▲直に遣つて來た明石閣下『ドーダ乃公の繪も堂に入つた者だらう其證據には表裝を見給へ』と御自慢▲つぎは福田參謀次長に遣つて是非描いてやると强談を持込んだが次長は怖毛を揮つて『貰ふがマア金の出來るまで寄越すことは待つて呉れ』と切なる哀願▲之には明石閣下も無理には云へず『其の癖に困るかね』と苦笑した相なとは東京からの風の便り。

電話 一六二三
◇洋釘　京福
◇平板　城田
◇浪板　南又
◇洋鐵　大京
◇鐵板　門城
◇亞鉛線　通文
◇鉛力板　三店
振替貯金京城二九二

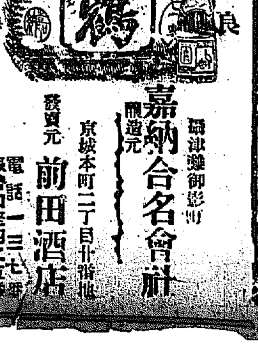
最新刊
書名　著者　定價　送料
▲新らしい言ひ表し方　佐々木王潮著　定價八十錢送料四錢
日和支那經濟綱目　川　二、五〇　一二
農村通話集　小林英一　一、〇〇　〇八
藥用植物栽培法　岡村猪之助　一、五〇　〇八
新聞を造る人記者になる人讀む人の學者月一步　一、二〇〇　〇八
金澤博士校閱猶閣默治著　國語大辭典　（四版）定價四圓三十錢送料三十六錢
小說 傷める　片須藤鐘一　二、二〇　〇八
現代戯曲 猫八　岩野泡鳴　一、〇〇　〇八
英文機械的解釋法　兒島　一、六〇　〇八
ポケツトブツク　內田魯庵　一、六〇　〇八

▲鈴木五段著　圍碁佈陣　戰術秘鍵　定價九十五錢　送料八錢

城本町一丁目　大阪屋號　電話六四番　振替京城二五七二番

せきずい
病に効能正しき良藥あり困難の方は往復端書にて御照會あれ詳報す
播磨國明石郡　高砂屋商店

大日本優等清酒
品質純良　衞生無害



白鶴
攝津灘御影町　釀造元　嘉納合名會社
京城本町二丁目廿番地　發賣元　前田酒店　電話一三七番　振替口座四二五番

常に頭の惱める人　頭痛する人、便秘する人
確効ある腦神經病特効藥
島村博士の有效證明　健腦丸　服用あれ
主效
▲腦充血　▲腦膜炎　▲逆上症　▲神經痛　▲腦貧血　▲卒中症
▲頭痛　▲耳鳴　▲中風　▲眩暈　▲健忘　▲便秘
藥價　一週七十錢　中週四十錢　三週二圓八十錢　二週一圓卅錢　五週五圓　二週二圓八十錢
全國藥店にあり
大阪 東京　本舖丹平商會藥房

京城電氣會社特約製販賣
コールタール
龍山漢江通り八　電話四九番　金物商　島田忠作商店

外科 內科 皮膚科
京城旭町一丁目　電話二七三六番
島崎病院
院長正六位勳四等　島崎龍一

理想の萬年ペン　新荷着
ウオーターマン
セエフチー　安全萬年ペン
四十二號　六圓五十錢
七百四十二號　十八金卷　八圓五十錢
萬年ペンカタログ申込次第進呈
京城本町　篠崎文具店

滋養强壯劑
GLYCONAL
本品ハ醫學博士佐伯矩先生ガ創製セル營養劑ニシテ五〇%ノ「グリコゲーン」及蛋白脂肪越幾斯分ノ適量ヲ含有ス
グリコナール
適應症。一般虛弱、心臟機能衰弱、胃腸病、結核其他慢性病者等濃厚滋養料ノ充足ヲ要スルモノニ對シ良ク其目的ヲ達スル事ヲ得。
▼百錠入金壹圓拾五錢＝說明書進呈ス＝各藥舖ニ有リ▲
東京室町
三共株式會社

[illegible]に採り來りたると同樣依然

(三)世界共通の大問題たる勞働に於ては適當なる處置なるも今や[illegible]たる見解となす能はずとなし反對[illegible]一致を占むるに至らずウイルソン大[illegible]に努めつゝありと云ふ(東京)

[illegible]したり

◇牡丹 ＝西大門外宋秉畯子別莊＝

◎米國委員の辭職

其の動機は何處にあらう? 大統領の宣言に反したる講和條件に對する不滿か

外電に依れば米國講和委員九名が對獨講和條項を不滿として辭職したと傳へらるゝが事實としても勿論主腦委員ではあるまいと察せられる併しそれとしても何か故に不滿足であるか

◇米國委員 だけに一寸興味ある出來事である、右に就き某外部通は曰く『此電報は出所も怪しく何者かゞ爲にせんとするものではないかとも疑はれる、若そうとも少し時日が經つて見ねば分らぬが假りに事實とすれば勿論其不滿と云ふのが餘りに苛酷に過ぎると云ふ點にあるに相違ない、一體

◇講和條項 が獨委員に提示するやウイルソン十四箇條の形骸すら止めざるものとして大に米國の措置を恨み獨逸國民の反米的感情が非常に昂まつて來たのを見て米國委員はウ氏を始めとして何れも獨逸國民の悲憤を尤もとして大に同情し何とか佛蘭西を宥めて條件を緩和してやりたいと思つて居ることは局外者にも見え透いてゐる勿論獨逸の侵略に對する

◇佛蘭西の 杞憂も尤もであるが英米としては佛國の獨逸に對する恐怖は殆ど病的であると解してゐるらしいから獨逸の侵入に對し三國同盟を以て保障することにしたのである併し此の三國同盟も結局佛國に對獨條項の緩和を望む代償として承認されたものに相違なく米國としては飽まで獨逸をも國際聯盟に加へれば佛國の杞憂する如き

◇事端を發 せずして歐洲の平和を維持し得るものと信じてゐるらしい、米國委員中には獨逸がウイルソン氏の宣言に依つて民主的政府を建て、休戰に入り苦しめらるゝと云へ終りに於て大いに誠意を盡した獨逸に大統領が意志に反してあの如き苛酷なる條件を強いたことを不滿として斯の如き行動に出づるは實際あり得べきことである』と

割腹自殺せる 鮮人巡視の葬儀

◇嫌疑を受けて 忠清南道巡視金鳳仁が騷擾事件に我子が參加せしにより警務官憲の嫌疑を受けたるを悔い遂に割腹自殺を遂げたる事實は既報の如くなるが同人は生前耶蘇教信者にして耶蘇教の

◇葬儀を執行 すべき筈なりしも同人の遺言に依り朝鮮式佛葬に依りたる趣なるが葬儀には道廳警務部警察署醫院郡廳銀行金融組合其他各官署及び民間內鮮人有志多數の會葬ありし上吊慰金を贈るもの多かりし由なるが恰も守備隊巡視の爲め來合中の軍參謀長は同人が生前

◇職務に忠勤 なりし事實を聞き殊に今回の慘死同情すべきものありとて特に多くの吊慰金を贈られたるが何れも鮮人として模範的人物を失ひたるを惜めり

◎耐火建築と其材料 鐵も石も駄目

近來住宅問題が世間に論議されると同時に横濱以來最近各地に頻々と大火があるのが動機で所謂耐火建築と云ふ事が

研究されて 來たのがこれに就て某專門家は語る『耐火家屋の建築に二つの形式がある、一は全然火災を防ぐ材料で建築する他の一は大火に際し屋內の什器は破壞されても家屋其物は依然として殘り僅の勞力で再び使用し得べき建築である、前者は莫大な費用を要するから銀行其他貴重品を保管する場所以外には其の用稀であるが後者は普通の

諸官衙商店 其の他の家屋に適當してゐる、從來日本で所謂土藏式建築法は丈夫だと信ぜられてゐたが横濱其他の實際に見ても多くの土藏が悉く灰燼に歸した、其理由は土藏建築には木材を用ゐてゐるから大火の猛炎は土壁を通じて內部に火熱を送る、火が一度內部へ入れば策の施し樣が無い、耐火家屋に使用される

主要材料は 煉瓦、テラコッタ、鋼鐵、コンクリート、鐵筋コンクリートで石造家屋は殆んど耐火性を有しない、煉瓦、テラコッタは共に可なりの耐火力を有してゐるが、鋼鐵は容易に火熱に破壞される、故に鐵製の梁柱桁其他に使用する鐵は耐火材料で包まなければ効をなさぬ、先年の國技館出火の實地を見れば包まれない鋼鐵類の耐火力は判斷されよう、

只壁だけを 鐵筋コンクリート及び鐵筋コンクリートは完全な耐火性を有するがコンクリートにしたとて無効である、床と天井共に同一材料で建築して初めて有効である、日本に於ては此種の樣式はまだ多く見ないが價格の問題と關聯して建築家には興味ある問題である、又耐火上窓と窓扉の問題も重大な事を忘れてはならぬ、吾人は日本に完全な耐火家屋を普及したいと思つてゐる』

◎民間の軍事功勞者表彰 朝鮮には無し

陸軍當局が民間の軍事功勞者に對して何とか表彰したいと云ふ懸案が漸く實現され去る三月十日の

▽陸軍記念日 を卜して先づ第一回の表彰を發表し吉田俊男以下四十九名に表彰狀と表彰金とを授與する事に決定し此程之れを傳達する運びに至つたと云ふ前記吉田氏は飛行機上から爆彈投下裝置其他を發明して其特許權を陸軍に獻納した人で其他は在鄕軍人指導援助に盡瘁した篤志家の殊勞者である、陸軍では將來も此表彰を行ふ方針だと云ふ表彰者は各府縣にあるが

▽臺灣と朝鮮 にはない右に就き朝鮮軍司令部の高級副官は云ふ『朝鮮の如き新開の土地では軍事上の功勞者は尠い、一般が

金儲けで忙しい爲に軍事上の發明なぞを民間で企畫する人は甚だ稀である其上に軍隊や在鄕軍人に對する關係も內地程目立つた好意や援助を與へ然も十年一日の如く貢獻すると云ふ事は難事である勿論富力の關係もある假へば大阪の或

▽在鄕軍人會 の會員の如く成金で巨萬の富を得た爲に所屬の軍人分會の基金として現金で一萬圓を寄附したと云ふやうな例は到底望まれない、然し逐次軍隊と民間との接觸も親密になり朝鮮でも屢々援助を與へられた旨を聞いてゐるから第二回には一名位の表彰があつて欲しいと思ふ』

◎損害二百萬圓 各新聞社の受くる

四日市、中央、九州、富士、王子の各製紙會社重役は廿二日東京各新聞社代表者に對し七月分より新聞原紙一連に對し八十六錢の値上を通告せるが之に因り各社の蒙る損害三百餘萬圓なれば二十四日各社聯合の上右値上拒絕の回答を爲せり(東京特電)

◎東京大相撲 檢查役の改選 角界の興味を惹く

東京大相撲は今回檢查役の改選に着手するが、元來同役員は十人の中一人

▼待乳山死去 の爲め缺員を生じ、現在では九人である、右十人の中を東西の內譯にしてみれば東方四人、西方六人で、之はどちらが何うと云ふ次第ではないが、再改選の時斯ういふ結果を齎したのである、處で今度代れば西方の方が多く、先づ東關(元大刀山)、中立(伊勢ノ濱)、伊勢の海(柏戶)、二十山(小錦)が出るであらうし

▼待乳山の代 りとしては井筒(西の海)が出るであらうと推定されつゝある、現役員の中には老齡の故を以て辭任を申出るもの一二名はあるべく、能く谷なきはその中の一人であるやうに言つてゐる者もある、然し改選の結果は何うなるか分らぬが、太刀山の東關は必ず入選すべく、二十山は能く判らぬが、伊勢の海の中立と太刀山の東關とは從來の關係上

▼東關が出れ ば伊勢の海は辭退するであらうとも推されてある、それで殘りの一人の伊勢の海(柏戶)が父入れば都合十名となる兎も角も今度の役員改選は頗る意義のものとして角界の興味を惹いてゐる

◎恐しい傳染病が

弗々頭を擡げ出した 毎年五月になると急に殖える

▲鍾路署管內 鍾路署管內に於ける傳染病患者は本月に入りて既にパラ窒扶斯一、發疹窒扶斯六を出し向後益々

▲蔓延の徵 あるより目下署員を派して戶別臨檢を爲さしめつゝあるが一方諸病傳播上最も恐るべき蠅の驅除法に就ては下水道、便所、塵芥箱等の清潔を勵行になさしむると共に當地に於ては從來洗滌したる野菜類を販賣する慣きあり一方より云はゞ頗る清潔の如くなれども之は大抵不淨水にて洗ひたる者で却つて黴菌媒介上

▲頗る危險 の伴なふものなれば此際一般野菜類商人に對しては絕對不淨水を以て洗滌するを禁止する事と爲したるが野菜類中芹の如きは最も危險なるジストマ菌をも媒介せり依て一般人に於ても此際洗滌したる野菜類は購入せざる樣注意せられ度しと

▲本町署管內 本年一月から本町署管內の流行病發生の統計を見ると最近迄に腸チブスが五十六、パラチフスが十四、疫痢が三十八、痘瘡が二、腸チブスが一ある本町署の牛島警部は云ふ『流行病は目下チブスが日々一名乃至三名位出る痘瘡疫痢も此間チヨッと發生したが全く終熄した形である

▲毎年の例 に較べると先づ平年通りであるが、チブスは五月から猛烈な流行を來すのが例である、目下はそんな樣子も見ないが市民一般も個人衞生は勿論公衆衞生の上にも絕へず注意を拂つて貰ひたい、特に蠅は諸傳染病の媒介者であるから充分其驅除に努める必要があると

◎猛獸現る

人畜を攫ふ 里に近く出沒して

五月二十日午後七時頃慶北淸道郡角面山洞金用紋妻李氏伊が長男快述(二)を温突內に殘し庭內の家具を取片付け居たりし折柄快述は二頭の大豹に攫はれたるを發見し洞民に援助を求め追跡搜査せし結果翌二十一日午前五時頃黑石洞東端麥畑の中に喰ひ殘したる胴骨及び內臟物を見出したりと又慶北淸道郡角北面竹波洞金萬守は牡牛を去十七日午前後方の丘上に繫ぎ置きたるに一頭の大虎に咬殺され居るを發見し直ちに洞民五六名の援助を得虎を追ひ拂ひたるが近日官廳の指揮を仰ぎ洞民總出にて猛獸追拂ひを爲すべしと(大邱)

人氣女優連は 年俸百萬弗

例のチヤプリンの會社では年六十割の配當をした

活動信

活動寫眞の映畫提供は近來米國ユニバーサルが斯界の權威者となつてゐる帝劇から歐米劇界視察として派遣された伊坂梅雪君からユニバーサルの大規模なる計畫に就いて音信があつたユニバーサルと云ふ土地はロスアンジエルスから自動車で一時間で行ける山間僻地で此地は年中好晴で雨がなく

▲二十五六の會社が

▲あつて活動の町を形成してゐる撮影所も二十七八軒はある撮影所は凡て芝居式に出來てゐる屋外物の撮影は野外劇と見て差支なく山や川や廣野や又は構內には動物園もあつて象や獅子、馬、牛、猿、犬其他種々の禽獸が飼養してある俳優の化粧部屋は極粗末であるが有名な活動役者多くメリーマクラレンやメリービックフォード等の人氣女優は年俸百萬弗で

▲所得稅が戰爭前二

▲十五萬弗であつた男優ではチヤプリン、ドーグラス、フエヤバンクス、グリフィス等があるが此四人は一會社を起し前の大藏卿マカヅ氏を法律顧問として大努力をなしてゐる戰前の利益配當六十割をした會社も澤山ある時々に雇はれて俳優となる者の日給は五弗で羅府の日本人町の飲食店の亭主

▲朝の職を濟ませて

▲これから子供を連れて活動の仕出しに行くといふ有樣だ內職で金を貯込んでゐるのが多い例の評判者早川雪洲は活動役者として米國では大持てに持て囃されてゐるさうで靑木鶴子といふ活動女優――故川上音二郎の娘だといふが之を妻としてゐて豪奢を極めてゐる

◎永登浦の紛擾に就て

佐渡氏語る

佐渡秀光氏は過般永登浦を引揚げ歸京し居りしが、本月二十二日來城せり。而して五月三日本紙所載より引續き三回掲載せし『永登浦の紛擾』記事に就き語る處左の如し

◇學校長問題 余が永登浦を引揚ぐるに際し學校組合管理者の職を辭せざりしは議員諸氏の懇請ありしに由るものにして余の勞動に當る增田收作を同地小學校長に運動せむが爲にあらず余は今日迄一度も增田を校長に推薦したることなし。又學校組合は職員の任免に關し何等權能なく隨つて、校長の任免は一に當局の意見に基づくものなり。尙ほ余が上野前校長に暗々裡に辭職を迫れりといふが如き事實なく反つて同氏より他の普通學校へ轉じたき希望ある旨數次耳にしたる位なり

◇蘆草拂下問題 蘆草拂下許可を受けたる未墾地は前々管理者中川氏、前管理者大塚氏時代より出願したるも更に許可されざりしが余が就任するや力を盡して之が拂下を受けたるものなり。而して未墾地に生ずる蘆草は從來鷺梁津荒井某氏が一手に拂下を受け相當の利益を收め來れるより『貴下の名義を以て拂下を受け地元住民の便宜を計られたし』と議員其他より懇請ありたるが組合管理者として拂下を爲し得ざるより余の個人名義にて拂下出願を爲すと同時に純利あらば組合に全部寄附すべき旨言明し願出でたるに三百八十二圓五十錢にて落札したれば地元民に安價に供給し又監獄にて簾を製造する等夫々處分し總賣上金一千四百五十九圓八十二錢中、拂下草代金三百八十二圓五十錢並に諸經費四百四十七圓四十九錢を控除したる殘金中より組合の七年度豫算に金二百圓を寄附し差引殘金四百二十九圓八十三錢と目下現に永登浦分監に委託製作中なる簾約二千枚より生ずる純益金三百餘圓を合せ豫定額八百圓を八年度の豫算中に寄附することとし(尤も簾二千枚の賣上成績により此金額に加減あるべし)既に現金四百九十圓餘を渡し殘金は簾よりの收益を以て之に當つる事とし四月二十二日附を以て全く精算せり

◇記念銀盃問題 記念銀盃問題は余が在職中組合に功勞ありたる人に對し勞の爲め自己の費用にて製作し個人的に贈りたるものにて其の寄贈狀に學校組合管理者佐渡秀光の名義を用ゐたるは余が猶在職中の故を以て唯單に組合管理者の名を冠したるのみ、別に何等の意味ありたるにはあらず。(未完)

◎丸一吳服店の賣出し 本町二丁目丸一吳服店にては廿四日より廿六日迄賣出しを催し居れるが特價品[illegible]頗る好人氣なりと

◎護國寺の講演會 [illegible]日蓮宗護國寺にては二十七日[illegible]午後[illegible]時より[illegible]の講演ある由

◎狂言太夫來る 京城[illegible]會にては今回舊藩狂言太夫一行を招き五月三十一日、及び六月一日の兩日午後五時より京城ホテルに於て狂言開演の筈なるが古典的なる日本笑劇を味ふに充分なるべく參觀希望者は一日分五十錢二日分なれば一圓の參觀料を添へ南大門通り京城寫眞館宛申込みありたしと。尙兩日の狂言番組左の如し

五月三十一日 ▲入間川(野田宮野村小)▲清水(宮野野田)▲素襖落(野村小、宮野、野田)▲棒縛(野田野村宮野)▲鈍太郎(野村小路宮野)▲二人袴(野田野村宮野)▲武悪(小路宮野村)

六月一日 ▲茸大名(宮野野村小路)▲竹ノ子(小路宮野野田)▲不聞座頭(野田宮野野村)▲大刀奪(宮野野田野村)▲三人片輪(野村小路宮野)▲瓜盗人(野村小路野田宮野)

◎藝滬

●浪花節 松平春洲一行の浪花節は初日以來斯道愛好家の人氣を博し居れるが七日迄に入り[illegible]各席共時に入り[illegible]半額とす

●組太夫披露淨瑠璃 組太夫披露淨瑠璃は廿四、五日兩日浪花館にて盛會を呈し大切の組太夫の本藏下屋敷は拍手喝采を博したり

レート白粉(おしろい)

袷から單物への

お化粧の仕方と
お化粧うつりと

地脂肪が浮いて來ますし、日焼けを致します此節、時候の變り目とてお化粧には一層骨が折れます。然し、レート白粉はお肌の地から美くしくしてゆく新美容素が配伍してありますから、その御心配なしに美くしいお化粧が出來ます。

即ち、レート白粉をお附けになれば、滲み出して來る地脂肪を止め、又日焼けを防ぎます。其上創り伸びがよく、被覆力が强うムいますから、斑になつたり、剝げたり、崩れたりする事が少しもなく一日中美くしさが保つて居ります。

それから、袷から單物へこの薄着に移つて行くので、お召物にお化粧うつりの事も考へて頂かねばなりません。それもレート白粉は全く理想的です、それは白さに上品な艶があるからで、どんな淺い色や淡い色のお召物にも、シックリと適ふ事は不思議な位で、これはレート白粉の大自慢な特長でムいます。

＝淡化粧にレート＝水白粉＝レート＝粉白粉の粉刷＝

本舖 東京 大阪 平尾贊平商店

みだれ咲き

第二十九回 島山碧波作 森田久畫

操子を引摺るやうにして客座敷へ連れ込んだ出宮は。
『操子、心得違ひの眞似をして家名へ傷を付けては不可んぞ』再び斯うしたことを口にした後。
『お前こ運轉手の間に兎角の噂があるが、あんな風では忌まはしい噂の起るのが當然だな』
『伯父樣何だか奥歯に物の挾まつたやうなことを仰しやいますが一體どう云ふことなんです』
操子は出宮を今は恐ろしい人こ思つて心の内では少しの油斷もしない、自分のことなぞより、龍雄の家出こ云ふ大問題が生れて居るのに、そんな事なぞは一語も口にせぬ伯父の態度を悲しむのであつた。
『こう云ふこと、改めて聽く必要はあるまい、自分の胸に手を當て考へれば直に判るだらう』
出宮の言葉には何こなく角があつた。
『あら何を仰しやるのよ、私には、少しも判りません、からお伺ひ申して居るんですわ』
『判らんければ云つて聽かせるが操子お前は自動車の運轉手こ戀に陷ちて居るな』
『まア何を仰しやるのです、苟くも皇室の藩屛たる華族の家に生を享けた身がそんな淺猿しい量見にはなりません』
彼の女の言葉には熱があつた、彼の女の言葉尻には大きな力があつた
『口先きだけは立派だな』、
冷やかに云ひ放つた伯父の出宮は、其處へ入つて來た執事の松川こ顏を見合せ。
『何等の關係も無いものが、物置小屋の中で話をしたり、何の必要で自ら若い男の部屋へ遊びに行くのだ、俺はお前達姉弟が新しい母親の爲に苦勞をして居るから及ばず乍ら力こなつて共幸福を祈つて居るのに、今のやうな眞似をして居るのを見ては伯父こして默つて居られん、お前がそんな風であるから龍雄まで家に居難くなつて何處へか姿を隱してしまつたのだ』
伯父の出宮は、斯う云つて龍雄が家出の責任を操子に嫁してしまつた。
『伯父さんが、左樣云ふ風に御觀察遊ばすのは全く私の不德から起つたことで今更辯解がましい事は申しません、此の上はお父樣がお歸りになりましたら黑白の御裁斷を受けます』こ、口惜しさうに云つた操子は。
『伯父樣、神樣は正しい者を助けて下さいますから、旋てお疑ひの解ける時期が來るだらうこ信じて居ります』
『お前が幾らさう信じても俺は伯父こして此のまゝにする事は出來無い、萬一のことでもあらうものなら欽也に對して申譯が無いからな』
伯父の態度は前の日こは丸で別人のやうである、すると些か膝を進めた執事の松川が。
『番町樣、仰の次第は御尤も千萬で御座います、然し乍らお孃樣が牧野のやうな者こ親密になさるこ云ふことは全く私の監督不行屆きから起りましたので、ごつちから申せば責任は私に在るのでございます』
『さうじやお前が餘りに家事不取締から起つたことだ、で此の上は將來間違ひが生じて星川家のやうな醜聞が社會へ曝露せぬやうにせんければ不可んよ』
『はい、今日以後は充分に注意を致しまして御心配を掛けぬやうに心掛けます』
『そんな迂遠のことを云つて居るから不可ん、危機は眼前に迫つて居るでは無いか、何故モツこ徹底的に事を未然に防がんのだ、イヤサ操子を誘惑しようこする牧野に何故永の暇をやらんのだッ』

羊肉料理
田中博士考案

◇羊肉味噌吸物 肉一斤を八塊位に二三分間湯搔き(汁はこぼすこと)次ぎに湯通しをした葱(二三寸に切つたもの)二三本分こ瓦切生薑(皮を剝き一分位の厚さに切つたもの)五六片を加へたものを入れて三十分位弱火で一旦冷し吸物椀に一片宛になる樣に大き目に切り外に豆腐と葱を程よく切り一方には味噌を[illegible]汁で延ばし[illegible]を加へとろ火で肉をゆつくり煮た後豆腐と葱を入れます
◇煎旨煮 肉一斤を普通に薄く切り蓮根、牛蒡、里芋、獨活、蒟蒻等を普通の大さに切り鍋に胡麻油二三勺を熱し、微塵に刻んだ葱と生薑各茶匙一杯を加へ肉を入れて煎りそれから蓮根、牛蒡を入れて煎り醬油、味淋、砂糖、鹽にて味をつけそれに獨活と里芋を入れ瓦に切つた蒟蒻を入れ靜かに煮ながら煮ます

京染 東京 都染特約店 あらぎ屋 京城本町三 電三〇六八

日報歌壇

平生 松斗
春風に鶏の長啼き長閑にそ流れ來るかも麥を渡りて
○
雨あとの赤土道の土かたくわらぢ結びし都のいくたび
○
さみな
長病む白きシーツの赤きしみしみじみと見つむ心なりけり

和泉 士朗
○
つよきこゑ云ひたる後に泉なすつよき寂しさ頒ける夜なり
○
空ゆく月あるさしもなしらちこあかく咲ける山櫻花

鈴木 鹿米
○
寢そこゆげになつかしくふかくさ欠伸は湧くも山にさつれば
○
雨の街の灯濡れてさびしらの光い窓にしむ春の宵かな
山に入る春かなしも夕空な喩かで飛び行く一羽の鴉

加□部笑子
○
夏の夜を灯さしもらぬ町はずれうらぶれにつゝまよひかな
山里のこゝも櫻の咲く頃は田舍娘が小唄はやさしく

下 衆
○
あはれなる心なもちてみなぐと若葉の風を吸ひありけり

新刊紹介

▼千代田(第四號) 故角田竹冷宗匠の追悼號なり、鳴雪、璞堂、松跡、巴遊諸氏の追懷談を始め同人句、募集句等を收む(定價卅六錢發行所神田區本町三の五共社)
▼諸の友(五月號) 自然居士、雅野、雪塚山等の諸方に就きて名家の俳話あり(定價廿三錢發行所東京麴町區飯田町三の九能樂通信社)
▼電氣界(五月號) 定價廿五錢發行所大阪市北區若松町二六電氣社
▼建築新報(創刊號) 口繪には建築界の黎明期、國際聯盟、建築と經濟の關係、米國建築感想、日本獨特の建築法等あり(定價卅五錢發行所東京戶塚町大字下戶塚五九五共社)
▼赤土(五月號) 第二輯にて發行する俳句雜誌なり、荻原井泉水氏など心きせる同人の句作竝びに短歌、新詩等を掲載せり(定價十五錢發行所黃海道兼二浦[illegible]赤土詩社)

夜もの領分

[illegible]たく感ずる僕も微かに[illegible]あつたら[illegible]面に奔聞したいこ思つてなる、君の住所こ姓名を知らして下さるまいか(平の)
△二十台青年へ△自動翁に一寸御尋ねが貴下は目的こ手段とを知りりや、貴下の主張は[illegible]感謝する處なり、されど貴下の取りし態度は[illegible]
△テエー生樣 謹んでいたします、私は或る理想なり[illegible]
[illegible]△馬鹿子樣貴方の仰せの通り[illegible]なるものなすれば宜ろしいが何を云つても一人では出來ませんから、何れ我が組下に於て[illegible]やりませう(陽炎)
△メイ十三丁生へ 乳兒二十日程より打續き每夜十二時迄乃至は一時頃迄も夜泣を致し時々は徹夜泣き通す事もありまして誠に困却致して居りますが此夜泣の癒る方法御承知の御方がおりましたら恐れ入りますが何卒本欄にて御教示下さいませんでせうか御願致します(泣兒の母)
△市内の小賣店で販賣する煙草は此の頃品質益々粗惡となつて來た製造者の罪か販賣者の罪か何れにせよ朝日などは卷き方が粗末でボロボロ落ち散るものが多い粗製濫造は我國商人の自慢かも知れぬが少し信義を重じて優良品を製造して欲しい(三尺一寸男)
△菜色頭店主人頗る傲慢に遜ぶ客に對するの道を知らず一歩足を入る者をして不快の感ぜざる者なしとは一般の定評なり(眞面目なる非告生)

大阪財界便り

▲比較的高値の船舶を[illegible]他に活路を求めざれば到底[illegible]
▲相當の業績[illegible]
[illegible]

Scientific Research Made
MITSUWA GINSENG TABLETS. 100 tablets ¥ .50 500 tablets ¥ 2.00
This remedy feeds vitality to the strained and careworn nerves and dispels the brain fag. It is efficacious for anaemia, inanition, hysteria, hypochonderia, energy-decline and is especially good for kidney troubles. Not only it improves the muscular tone and invigorates the nerves, but it also excellent for the means of recovering vigor to persons of weak constitution who are flabby and incapable of continued exertions.

酒井醫學博士の實驗的研究に根基せる
◎ミツワ人參錠(みつわにんじんちやう)
定價 百錠入 金五十錢 五百錠入 金二圓 内地以外は關税運賃を加ふ

主効 神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血、腎臟炎、貧血、老衰、榮養不良、精力減退。

藥學博士酒井和太郎氏はミツワ化學研究所に在つて、漢藥人參を實驗的に研究し、鎭靜、催眠、利尿、興奮、強壯等の諸作を呈することを證明せり、ミツワ人參錠は同博士の研究を基礎こし、合理的に精製せるものにして、神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、及び是等の疾患に發現する諸症候、即ち精神憂鬱、情調異常、意志薄弱、記憶力減退、睡眠不安、消化不良、心悸亢進、手足厥冷、遺精、陰萎等に對して偉効を現はし、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血の如き神經系疾患を治し得べく、之を腎臟炎に適用すれば、尿異常、浮腫其他の諸徴を除き、分娩前後及び結核、癩病、胃腸病、子宮病、諸種傳染病等に因る貧血並に榮養不良を恢復して、體力を增進し、又精力減退即ち精神の困憊並に筋肉の疲勞を癒し、頭腦を明晰にし、意氣を旺盛ならしめ、老衰の諸因を去る等の卓効を奏す。

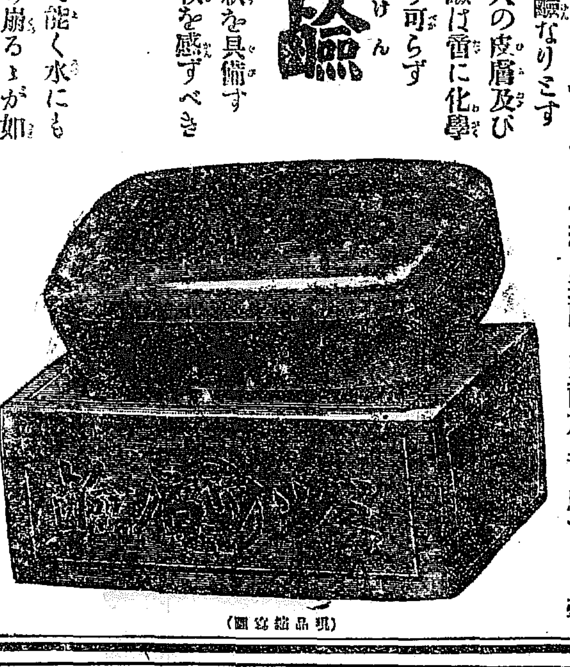
適應諸症
一、頭が重く或は頭内が陰鬱とする人
一、眼の疲れ易い人
一、逆上せて汗平となる人
一、眠らうとしても眠れぬ人
一、煩れて困い夢を見る人
一、些細の事を氣に掛ける人
一、何事にも怒り易い人
一、悲しい事の無いのに泣きたい人
一、神經の作々する人
一、何事も悲觀して厭世的になる人
一、物事を深く考へることの出來ぬ人
一、物事の理非判斷の出來ぬ人
一、物事の記憶の不良い人
一、雜念纏りに起り熱注の出來ぬ人
一、神經衰弱に罹つて居る人
一、血の道に罹つて居る人
一、腎臟や逆痛に惱む人
一、胃腸病に罹る人
一、病後又病中の衰弱を直したい人
一、勉學をして直に疲れる人
一、勞働をして疲れ易い人
一、精神の疲勞を早く治したい人

(現品縮寫圖)

◎ミツワ石鹼(みつわせつけん)

純正の石鹼は亞爾箇保兒に透明に溶解し、遊離脂肪なきが故に溷濁する事なく、混合物なきが故に些の沈渣をも殘留せず、更に『フエノールフタレイン』を以て、仔細に遊離の亞爾加里を驗するも毫末の反應を呈する事なき、是を化學上の純石鹼なりこす
皮脂の分泌量多くして而かも粗造なる本邦人の皮膚及び漆黑を貴ぶ毛髮の洗滌に用ふべき化粧用石鹼は啻に化學上の純石鹼たるの故のみを以て其適否を論ず可らず

◎ミツワ石鹼(みつわせつけん)は化學上の純石鹼たるのみならず尙左の性狀を具備す
一、原料を精選し、脂肪に、香料に、苟も刺戟を感ずべき處あるものを用ゐず。
一、溫雅の芳香を有す。
一、細き泡沫を生じ、適度の溶解性を備へて能く水にも溶解し而かも浴室に用ひて半途に溶け崩るゝが如き憂ひなし。
故に、一般の家庭に於ける浴室、化粧用こして、衞生に適ひ、經濟に合する、理想的實用品なり


(現品縮寫圖)

種類	大形	中形	小形	極小形	水石鹼	
	金貳拾五錢	金拾八錢	金拾貳錢	金六錢	金參拾五錢	金五拾錢

内地以外は關税運賃を加ふ

ミツワ家庭藥 ミツワ規那鐵葡萄酒 ミツワ人蔘葡萄酒 肝油ドロップス 御園化粧品
本舖 發賣元 (登錄商標)
東京市日本橋區橘町四丁目 藥劑、滋養品、石鹼、香粧品、小間物問屋
丸見屋商店
電信略號◎ミヤ 振替口座東京七一〇番 營業部電話浪花三〇四八・四四九・四五〇番

最上清酢 日本一 マルカン印
ほまれ味噌
花 龍 醬油 上 日本醬油株式會社 京城出張所 電話二四五番

◎婦人病特藥◎
婦人病の常備藥なり
主効 神經衰弱 貧血症 腎臟病 子宮病 肝臟病 門脈病 生殖器病 リウマチス ヒステリー ヒポコンデリー 老衰 精力減退
人參三優ル強壯劑
淫羊藿エキス

通稱 三枝九葉草エキス
定價 廿五入金壹圓 卅五入金壹圓五拾錢 四十五入金壹圓九十錢 五十五入金貳圓三十錢
送料 市内 三錢 郵外 二十錢
市内ハ御通知次第配達仕候
全國一手販賣 京城太平通 京城日報代理部 振替京城三〇一番 電話局内十三番
京城特約店 山岸天佑堂
京城特約店 北島支店

大阪商船汽船出帆(仁川出帆)
△安東丸 五月二十日正午出帆
▲信濃川丸 五月廿五日正午出帆
(元山出帆)
大阪行 宮島丸 五月廿一日後十二時
安平丸 門司、宇品、神戸、大阪行 五月十九日後九時出帆
(大連出帆)
基隆行 湖北丸 六月八日後六時出帆
上海、北臺灣、打狗行 五月廿四日前六時出帆
內地各港出帆主要航路
北米行 每月一回 南米行 每月一回 歐洲行 每月二回 濠洲行 每月一回

共同汽船出帆
芝罘大連行 第十二共同丸 五月廿七日午後入港 五月廿八日正午出帆
青島直行 第十一共同丸 五月 日午前入港 日午前出帆
第六泰星丸 島行 五月 日正午出帆
第十三共同丸 五月 日正午出帆
大連にて南滿鐵道定期船接續
仁川代理店 阿波共同汽船株式會社 本町四丁目 電話一七三番
元山代理店 田口商會 電話二四七番
京城取次店 南大門通 河村運送店 電話二八二一

尼崎汽船仁川出帆
木浦下ノ關大阪行
△赤城丸 五月廿九日後四時出
△一心丸 五月 日後四時出
△御代丸 五月 日後四時出
△秀吉丸 五月 日後四時出
△君が代丸 六月 日後四時出
○有丸 五月 日後四時出
○大運輪丸 月 日後四時出
○印一等船客なし
船客御取扱所 仁川海岸通一丁目 電話五九番

日本郵船仁川出帆
天津、牛莊行 新潟丸 五月三十日正午出帆
高砂丸 五月二十日正午出帆
相模丸 五月二十日正午出帆
都合ニヨリ早發スルコトアルベシ
仁川港町一丁目

互光商會汽船出帆廣告
◎元山西湖、城津、清津行 第三 丸 五月 日釜山發 元山發
◎門司、宇品、神戸、大阪行 第三 丸 五月十三日釜山 五月十五日元山發
釜山 大池回漕部(電話一三)
元山 田口回漕店

朝鮮郵船出帆
大阪朝鮮線ノ經由港及發着日時變更スル場合アルベク船ニ付詳細ハ本社又ハ各地支店代理店ニ就キ御承合被下度候
▲敦賀行 浦潮、城津、元山、釜山經由
立神丸 六月一日 清津發
立神丸 六月四日 元山發
▲浦汐行 大阪發、門司、釜山、元山、城津經由
越後丸 六月三日 釜山發
越後丸 六月五日 元山發
▲雄基行 關門發、釜山、各港經由ス
平壤丸 五月卅一日 釜山發
平壤丸 六月三日 元山發
成鏡丸 六月五日 釜山發
成鏡丸 六月八日 元山發
元山雄基線 元山起點各港經由雄基迄往復
鏡城丸 五月廿八日 元山發
▲大阪行 浦潮、城津、元山、釜山、門司、神戸經由
平安丸 六月五日 元山發
平安丸 六月七日 釜山發
▲關門行 雄基、清津、城津、元山、各港經由
×雄基丸 六月六日 元山發
六月九日 釜山發
六月十一日 元山發
平壤丸 六月十四日 釜山發
▲鬱陵島行 釜山發浦項及各地經由
迎德丸 六月一日 釜山發
▲濟州島行 釜山發長承浦、麗水、巨文島
昌平丸 六月三日 釜山發
▲濟州島行 木浦發東廻ハ府安島經由
東廻 慶興丸 六月五日 木浦發
西廻 公州丸 六月一日 木浦發
▲釜山、麗水線 釜山、麗水間往復
▲木浦麗水線 木浦發釜山行麗水ニテ接續
金海丸 六月 日 木浦發
▲多島海行 木浦發多島海各島行
慶興丸 六月一日 木浦發
▲木浦行 仁川發各地經由
全州丸 六月一日 仁川發
▲濟州行 仁川發江華島經由 仁川、海州相互ヨリ毎日一回出帆
▲鎭南浦行 仁川發各港經由
晋州丸 六月一日 仁川發
▲大連、青島行 仁川發芝罘經由
江原丸 六月三日 仁川發
○許可ヲ得テ外國航路ノ便アリ
本社 京城南大門通(電話長一九五・二一三二)
釜山支店 釜山佐藤町
元山出張所 元山海岸通
仁川代理店 堀回漕店
木浦代理店 山野回漕店
京城大阪荷客取扱店 松原運送店
其他各寄港地ニ荷客取扱店 電話長一〇七